SONY

目次

やりたいこと から探す

MENU/設定 一覧から探す

索引

Cyber-shot

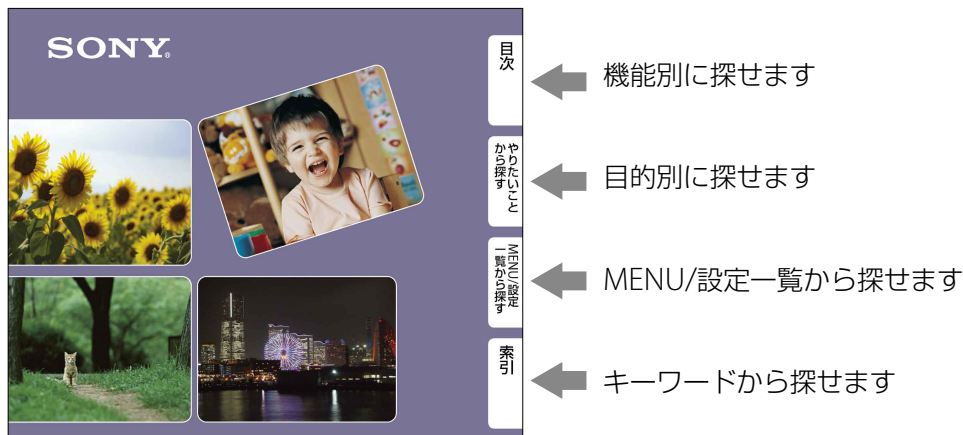
サイバーショット ハンドブック

DSC-TX1

4-148-677-**01**(1)

JP

ハンドブックの便利な使いかた

右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (赤目軽減) → 好みのモード

✓	(オート)	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	(入)	常に赤目軽減発光する。
	(切)	赤目軽減発光しない。

ご注意
- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、[赤目軽減]は選べません。
- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

カメラ　目　網膜

その他の軽減方法
- シーンセレクションで(高感度)に設定して撮影する。(フラッシュは[発光禁止]になります。)
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

ハンドブックでは、操作の手順を→で表現しています。この順に従って、画面をタッチしてください。マークはお買い上げ時の状態のもので載せています。

お買い上げ時の設定は✓で表しています。

カメラを正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。

知っておくと便利な情報を記載しています。

操作前のご注意

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機で使用できる"メモリースティック"(別売)についてのご注意

"メモリースティック デュオ"：本機で使用可能です。

"メモリースティック"：本機では使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

- "メモリースティック デュオ"について詳しくは、141ページをご覧ください。

"メモリースティック デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合

"メモリースティック デュオ" アダプター（別売）に入れると使用可能です。

"メモリースティック デュオ" アダプター

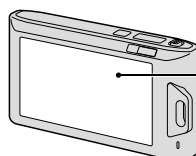
バッテリーについてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長期間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、143ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面に水滴などがついて濡れてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機のレンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

カスタマー登録について

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後はカスタマー登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話：**0466-38-1410**
受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00
　　　　　土日祝　9:00 ～ 17:00

カスタマー登録およびそれに関する電話によるお問い合わせの対応は、国内のみです。

目次

ご使用の前に

撮る

見る

MENU（撮影）を使う

MENU（再生）を使う

設定を変更する

テレビで見る

パソコンを使う

プリントする

困ったときは

その他

索引

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

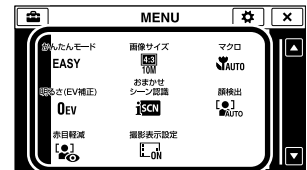
MENU一覧（撮影）

撮影中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

3 メニュー項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表では、○は設定可能、、SCN の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

撮影モード / メニュー項目				P			SCN
かんたんモード	○	○	－	○	○	○	○
動画撮影モード	－	－	○	－	－	－	－
スマイルシャッター	○	－	－	○	－	－	ISO
フラッシュ	○	－	－	○	－	－	
セルフタイマー	○	－	○	○	○	○	○
連写	○	－	－	○	－	－	
撮影方向	－	○	－	－	－	－	－
画像サイズ	○	○	○	○	○	○	○
マクロ	○	－	－	○	－	－	
明るさ(EV補正)	○	○	○	○	○	○	○
ISO	－	－	－	○	－	－	
色合い(ホワイトバランス)	－	○	AUTO	○	○	○	ISO
水中ホワイトバランス	－	－		－	－	－	
フォーカス	－	○	－	○	－	－	－
測光モード	－	○	○	○	○	○	－
おまかせシーン認識	○	－	－	－	－	－	－
顔検出	○	－	－	○	○	○	ISO

次のページにつづく↓

撮影モード / メニュー項目	iAuto	パノラマ	動画	P	手ブレ	夜景手持ち	SCN
DRO	－	－	－	○	－	－	－
目つぶり軽減	－	－	－	－	－	－	(ソフトスナップ)
赤目軽減	○	－	－	○	－	－	(シーンアイコン)
手ブレ補正	－	－	○	○	○	○	(シーンアイコン)
撮影表示設定	○	○	○	○	○	○	○

ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
- MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、各撮影モードによって表示される項目が異なります。

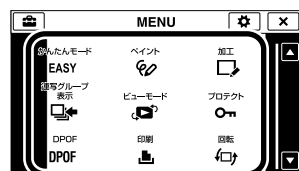
MENU一覧（再生）

再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

3 メニュー項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表では、○は設定可能を表しています。

「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

再生モード / メニュー項目	"メモリースティック デュオ"		内蔵メモリー
	日付ビュー	フォルダビュー	フォルダビュー
EASY（かんたんモード）	○	○	○
（カレンダー表示）	○	–	–
（一覧表示）	○	○	○
（スライドショー）	○	○	○
（削除）	○	○	○
（ペイント）	○	○	○
（加工）	○	○	○
（連写グループ表示）	○	–	–
（ビューモード）	○	○	–
（プロテクト）	○	○	○
DPOF	○	○	–
（印刷）	○	○	○
（回転）	○	○	○
（音量設定）	○	○	○
（再生表示設定）	○	○	○
（撮影情報表示）	○	○	○
（一覧表示設定）	○	○	○
（再生フォルダ選択）	–	○	–

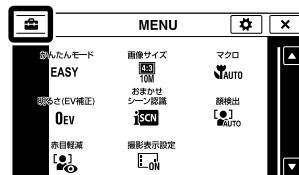
ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。

設定一覧

(設定)画面を表示して、本機の設定を変更できます。

1 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

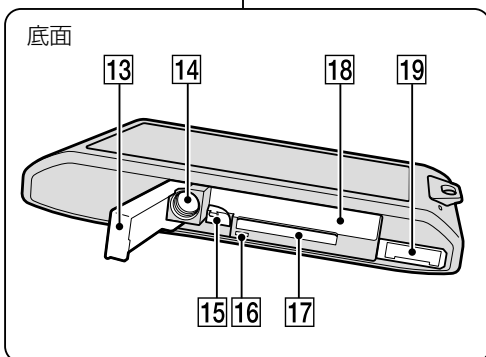
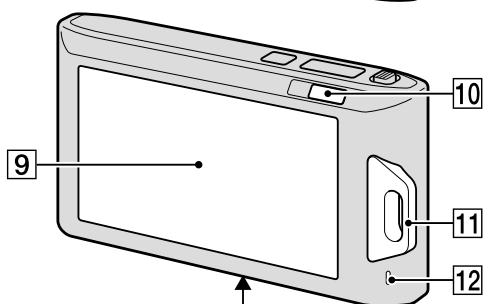
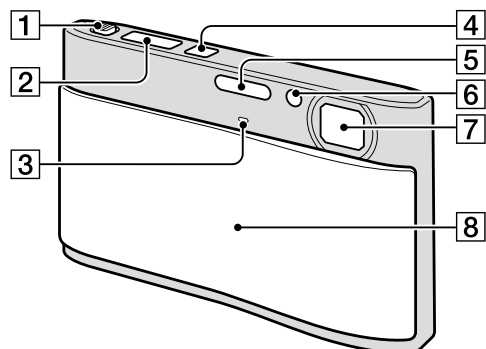
2 (設定) → 希望のカテゴリー → 希望の項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表の「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

カテゴリー	項目
撮影設定	AFイルミネーター
	グリッドライン
	デジタルズーム
	縦横判別
	シーン認識ガイド
	目つぶり通知
本体設定	操作音
	画面の明るさ
	表示言語*
	デモモード
	設定リセット
	コンポーネント出力
	ビデオ信号出力
	ハウジング
	USB接続
	BGMダウンロード
	BGMフォーマット
	キャリブレーション
"メモリースティック"ツール	フォーマット
	記録フォルダ作成
	記録フォルダ変更
	記録フォルダ削除
	コピー
	ファイル番号
内蔵メモリーツール	フォーマット
	ファイル番号
時計設定	エリア設定
	日時設定

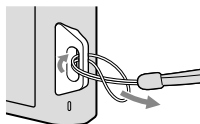
* 本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

ご注意

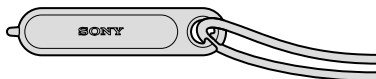
- [撮影設定]は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。
- ["メモリースティック"ツール]は"メモリースティック デュオ"挿入時のみ表示され、[内蔵メモリーツール]は"メモリースティック デュオ"が非挿入時のみ表示されます。

各部の名前

1 ズーム(W/T)レバー(30、32)
2 シャッターボタン
3 マイク
4 ON/OFF(電源)ボタン
5 フラッシュ
6 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AFイルミネーター
7 レンズ
8 レンズカバー
9 液晶画面/タッチパネル
10 ▶(再生)ボタン(31)
11 リストストラップ取り付け部*/グリップ
12 スピーカー
13 バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバー
14 三脚用ネジ穴
15 取りはずしつまみ
16 アクセスランプ
17 "メモリースティック デュオ"挿入口
18 バッテリー挿入口
19 マルチ端子

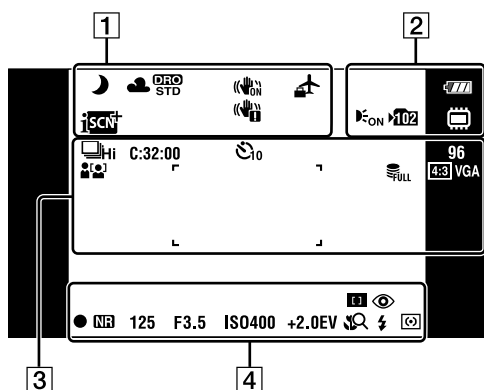
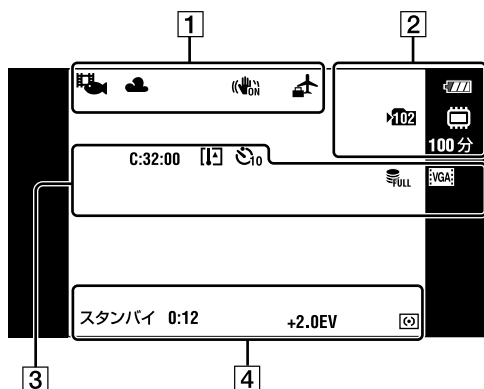
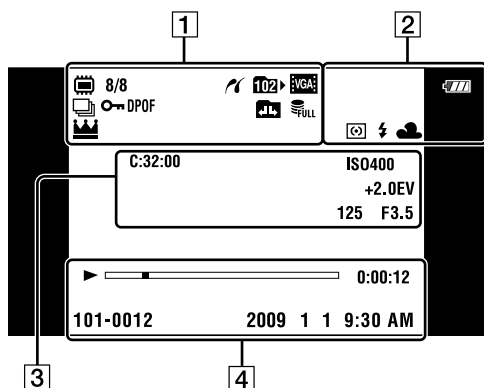
* リストストラップを使う

本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。落下防止のため、手をとおしてご使用ください。

* ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

静止画撮影時

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
	シーン認識マーク
	色合い(ホワイトバランス)
DRO STD DRO Plus	DRO
	手ブレ補正
	訪問先
iSCN	おまかせシーン認識
	手ブレ警告
	動画撮影モード
×2.0	再生ズーム
	記録/再生メディア(“メモリースティック デュオ”、内蔵メモリー)
8/8	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
	PictBridge接続
102	再生フォルダ
	連写画像
	プロテクト
DPOF	プリント予約マーク
	フォルダ移動
FULL	管理ファイルフル
	連写代表画像

次のページにつづく↓

2

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
ON	AFイルミネーター
102	記録フォルダ
	記録/再生メディア（"メモリースティック デュオ"、内蔵メモリー）
100分	記録可能時間
W T ×1.3 S P	ズーム
	測光モード
	フラッシュ
AWB WB 1 2 3 WB 1 WB 2	色合い（ホワイトバランス）

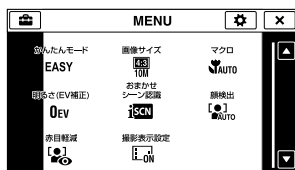
3

表示	意味
Hi Mid Lo	連写
C:32:00	自己診断表示
	温度上昇警告
10 2	セルフタイマー
FULL	管理ファイルフル
96	記録可能枚数
	顔検出
	AF測距枠
+	スポット測光照準
4:3 10M 4:3 5M 4:3 3M 4:3 VGA 3:2 8M 16:9 7M 16:9 2M STD WIDE 720 FINE 720 STD VGA	画像サイズ
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値

4

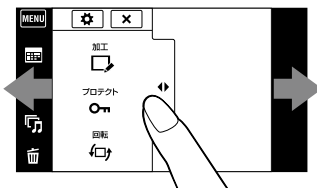
表示	意味
	フォーカス
	赤目軽減
	再生
	再生バー
35° 37' 32" N 139° 44' 31" E	緯度・経度表示
0:00:12	カウンター
●	AE/AFロック
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（露出補正）
	拡大鏡モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
	測光モード
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2009 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

タッチパネルを使いこなす

本機は液晶画面に表示されるボタンをタッチしたり、画面をなぞることにより操作や設定をします。

▲/▼/◀/▶	隠れている項目を表示させて、設定したい項目を表示する。
✕	前の画面に戻る。
?	撮影メニュー表示時、撮影機能の説明をする。

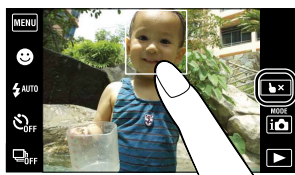
ご注意

- タッチパネルを操作するときは、指または付属のペイントペンで軽く押してください。強く押したり、付属のペイントペン以外の先の尖ったもので押すと故障の原因になります。
- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。

画面をなぞって操作する

メニュー画面の表示/非表示

	できること	操作方法
撮影/再生時	メニュー画面を表示	左側から右になぞる
	メニュー画面を非表示	右側から左になぞる
	操作ボタンを非表示	左側から左になぞる
	操作ボタンを表示	左側から右になぞる
再生時	画像を送る/戻す	右/左になぞる
	画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、画面をタッチし続ける
	一覧表示画面を表示	上になぞる
	一覧表示時、ページを送る/戻す	下/上になぞる
	日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示	下になぞる

画面をタッチしてピントを合わせる

タッチパネル上の被写体をタッチすると枠が表示され、シャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。枠内に顔がある場合は、ピント以外に明るさ、色合いも自動で最適化されます。

ボタン/操作方法	できること
被写体をタッチ	ピントをあわせる。
×（アイコン）	ピント合わせを解除する。

ご注意

- デジタルズーム時、拡大鏡モード時、かんたんモード時はこの機能は使えません。
- シーンセレクションの（風景）、（夜景）、（料理）、（打ち上げ花火）、（水中）が選ばれているときは、この機能は使えません。

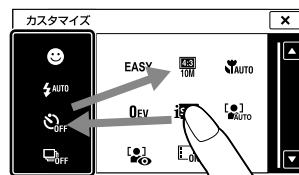
お好みのメニュー項目を並べる

撮影/再生モード時、左側に表示される4つのメニュー項目をお好みのボタンに変更（カスタマイズ）できます。よくご利用になるボタンを配置すると便利です。
撮影時は撮影モードごとに、再生時は内蔵メモリー、"メモリースティック デュオ"ごとにカスタマイズでき、その設定が保存されます。

1 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

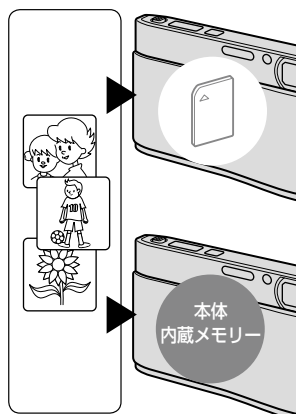
2 （カスタマイズ）→ [OK]

3 変更したいメニュー項目をタッチしたまま、左側の希望の位置へ移動する

4 終了するには、×をタッチする

ご注意

- かんたんモード中、[ハウジング]が[入]のときは、この機能は使えません。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約11 MB）が搭載されています。本機に"メモリースティック デュオ"が入っていないときでも、画像を内蔵メモリーに記録できます。

"メモリースティック デュオ"が挿入されているとき

[撮影画像]：“メモリースティック デュオ”に記録します。

[再生]：“メモリースティック デュオ”内の画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：“メモリースティック デュオ”内のデータに対して行います。

"メモリースティック デュオ"が挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

本機に“メモリースティック デュオ”を入れない状態で、119ページの操作を行う。

"メモリースティック デュオ"にバックアップを取るには

充分な空き容量のある“メモリースティック デュオ”を準備して、[コピー]（108ページ）の操作を行う。

ご注意

- “メモリースティック デュオ”に記録された画像データは、内蔵メモリーに取り込めません。
- 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンに取り込めますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーに書き出せません。

撮影モード

状況や目的に合わせた撮影モードを選べます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷（撮影モード）→ 好みのモードの順にタッチする

i📷（おまかせオート撮影）	自動設定で撮影できる。
（スイングパノラマ）	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
（動画撮影）	音声付きで動画を撮影できる。
P（プログラムオート撮影）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する。メニューで多彩な機能を設定できる。
（人物ブレ軽減）	高感度で連写した画像を合成して、フラッシュを使わずに被写体ブレを抑えてきれいに撮影できる。
（手持ち夜景）	高感度で連写した画像を合成して、三脚を使わなくても手ブレを軽減してきれいな夜景の撮影ができる。
SCN（シーンセレクション）	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影できる。

おまかせオート撮影

自動設定で撮影します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷(撮影モード) → i📷(おまかせオート撮影)
3 シャッターボタンを深押しする

ご注意

- フラッシュは[オート]または[発光禁止]になります。

おまかせシーン認識について

おまかせオート撮影では、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マーク(ガイド)

(夜景)、(夜景&人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光&人物)、(風景)、(マクロ)、(拡大鏡)、(人物)を認識し、認識した場合は画面に各マークとガイドが表示されます。
詳しくは57ページをご覧ください。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は、レンズ先端からW側約8 cm(おまかせオート撮影時、かんたんモード中は約1 cm)、T側約50 cmです。それよりも近くで撮影するときは、拡大鏡撮影してください。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えたり、フォーカス設定を変える(55ページ)などしてください。
- 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
  – 被写体が遠くて暗い
  – 被写体と背景のコントラストが弱い
  – ガラス越しの被写体
  – 高速で移動する被写体
  – 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  – 点滅する被写体
  – 逆光になっている被写体

スイングパノラマ

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i(撮影モード) → (スイングパノラマ)

3 液晶画面が良く見える位置にカメラを構え、シャッターボタンを深押しする

撮影されない部分

4 液晶画面の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす

ガイド

ご注意

- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを早く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレる場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- パノラマ撮影される画角全体と、ロックした時の画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。このようなときは、ロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  – 動いている被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  – カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  – ブレ過ぎた場合

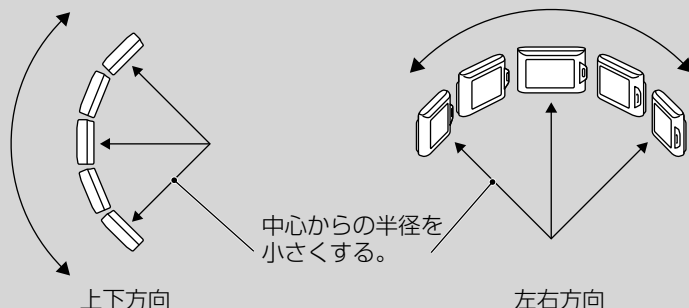
次のページにつづく↓

撮影方向、画像サイズを変更する

撮影方向： (撮影方向) → [右]または[左]、[上]、[下]

画像サイズ： (画像サイズ) → [標準]または[ワイド]

- 画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定してください。

スイングパノラマ撮影のポイント

- 一定の速度で小さな円を描くように動かす。
- 液晶画面の矢印方向と平行に動かす。
- シャッターボタンを半押しして、ピントや露出、ホワイトバランスをロックしてから、カメラを動かす。
- 風景の変化の多い部分が画面の中央になるように構図を調整して撮影する。

パノラマ画像をスクロール再生する

パノラマ画像表示中に▶をタッチすると、スクロール再生できます。
再生中、画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

全体の中で現在表示されている部分

ボタン/操作方法	できること
▶II もしくは画面をタッチ	スクロール再生/一時停止
▲/▼/◀/▶ 上下左右になぞる	スクロールの移動

- パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます（116ページ）。

動画撮影

音声付きで動画を撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 iカメラ(撮影モード) → 動画アイコン(動画撮影)
3 シャッターボタンを深押しする
4 終了するには、もう一度シャッターボタンを深押しする

プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i📷（撮影モード）→P（プログラムオート撮影）
3 シャッターボタンを深押しする

人物ブレ軽減

室内での人物撮影に適しています。フラッシュを使わずに被写体ブレを軽減した撮影ができます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i（撮影モード）→ （人物ブレ軽減）

3 シャッターボタンを深押しする

連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録される。

ご注意

- シャッター音が6回鳴りますが、記録される画像は1枚です。
- 下記の場合は、ノイズを軽減する効果が弱くなります。
  – 動きの大きな被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- スマイルシャッターは使えません。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、ブロック状のノイズが発生する場合があります。この場合は、シーンセレクションの ISO（高感度）モードで撮影してください。

手持ち夜景

夜景を撮影すると手ブレにより画像がぶれてしまいがちですが、三脚を使わなくてもノイズの少ないきれいな夜景を撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i（撮影モード）→（手持ち夜景）

3 シャッターボタンを深押しする

連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録される。

ご注意

- シャッター音が6回鳴りますが、記録される画像は1枚です。
- 下記の場合は、ノイズを軽減する効果が弱くなります。
  - 動きの大きな被写体
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- スマイルシャッターは使えません。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、ブロック状のノイズが発生する場合があります。この場合は、シーンセレクションの ISO（高感度）モードで撮影してください。

シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 (撮影モード) → SCN(シーンセレクション) → 好みのモード

(高感度)	暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。
(ソフトスナップ)	人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。
(風景)	遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。
(夜景＆人物)	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使う。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。
(夜景)	暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。
(料理)	マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。
(ペット)	ペットを最適な設定で撮影する。
(ビーチ)	海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに撮影する。
(スノー)	雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

(打ち上げ花火)	打ち上げ花火をきれいに撮影する。	
(水中)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影する。	
(高速シャッター)	屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。 • シャッタースピードが速くなるので、暗い場所で撮影すると画像が暗くなります。	

ご注意

- (夜景&人物)、(夜景)、(打ち上げ花火)のときは、シャッタースピードが遅くなり画像がブレやすくなるため、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。○は設定可能を表しています。
「フラッシュモード」の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。
モードによっては使えない機能があります。

	拡大鏡モード	フラッシュモード	顔検出/スマイルシャッター	連写	色合い(ホワイトバランス)	赤目軽減	目つぶり軽減	手ブレ補正
ISO	–	⊘	○	–	○*1	–	–	○
	–	○	○*2	○	–	○	○	○
	–	⚡ ⊘	–	○	–	○	–	○
	–	⚡SL	○	–	–	○	–	○
	–	⊘	–	–	–	–	–	○
	○	⚡ ⊘	–	–	○	–	–	–
	○	⚡ ⊘	–	–	○	–	–	○
	–	⚡ ⊘	○	○	–	○	–	○
	–	⚡ ⊘	○	○	–	○	–	○
	–	⊘	–	–	–	–	–	○
	○	⚡ ⊘	–	○	○*3	–	–	○
	–	⚡ ⊘	○	○	–	○	–	○

*1 [色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。
*2 [顔検出]の[タッチ時]は選べません。
*3 [水中ホワイトバランス]になります。

ズーム

画像を拡大して撮影します。光学4倍までズームします。

T側

W側

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 ズーム（W/T）レバーを動かす

ズーム（W/T）レバーをT側に動かすとズームし、W側に動かすと戻る。

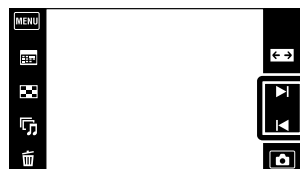
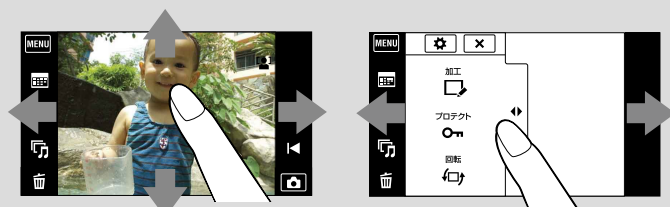
- 4倍以上のズームを行う場合は、89ページをご覧ください。

ご注意

- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- スイングパノラマ撮影中は、ズームはW側に固定されます。

静止画再生

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 ▶I/I◀で画像を選ぶ

なぞり操作を使いこなす

メニュー画面の表示/非表示

できること	操作方法
メニュー画面を表示	左側から右になぞる
メニュー画面を非表示	右側から左になぞる
操作ボタンを非表示	左側から左になぞる
操作ボタンを表示	左側から右になぞる
再生画像を送る/戻す	右/左になぞる
再生画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、画面をタッチし続ける
再生時、一覧表示画面を表示	上になぞる
一覧表示時、ページを送る/戻す	下/上になぞる
日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示	下になぞる

他機で撮影した画像を見るときは

本機で撮影した画像と、他機で撮影した画像の両方が入っている"メモリースティック デュオ"を本機に入れると、再生方法を選ぶ画面が表示されます。

管理された画像のみ再生： 設定しているビューモードで再生します。本機で撮影した画像以外は再生されない場合があります。

フォルダビューで全て再生： フォルダビューに切り替わってすべての画像を再生します。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

再生ズーム

再生した画像を拡大します。

全体の中で現在表示されている部分

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 拡大したい部分をタッチする

タッチした部分を中心に、2倍に拡大される。ズーム（W/T）レバーをT側に動かしても、拡大される。

3 倍率や拡大位置を調整する

画面をタッチするたびに、さらに拡大表示される。

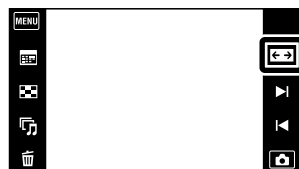
ボタン/操作方法	できること
上下左右になぞる	ズーム位置変更
⊕/⊖	倍率変更
✕	ズーム中止

画像を拡大し保存するには

MENU → ［加工］ → ［トリミング］で、拡大した画像を保存できます。

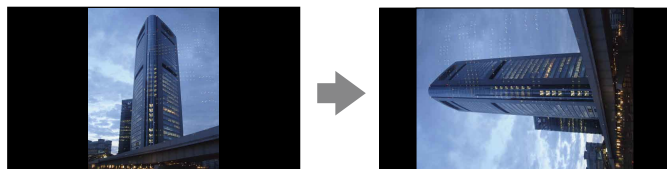
ワイドズーム

1枚再生時、4:3または3:2の画角の静止画を画面いっぱいに再生します。上下部分を少し切って表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 ←→ (ワイドズーム)をタッチする
3 終了するには、再び ←→(ワイドズーム)をタッチする

ご注意

- 動画、パノラマ画像、連写グループ表示された画像、16:9の画像はワイドズームできません。

一時回転表示

1枚再生時、縦に表示された画像を一時的に横に回転して大きく表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 縦に表示された画像を選ぶ → (一時回転表示)をタッチする
3 終了するには、再び (一時回転表示)をタッチする

ご注意

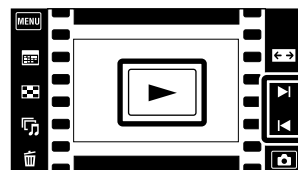
- 動画、パノラマ画像、横に表示された画像は一時回転表示できません。
- ▶I/I◀をタッチすると一時回転表示は解除されます。

動画再生

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 ▶I/I◀で動画を選ぶ

3 液晶画面の▶をタッチする

再生中、画面をタッチすると、操作ボタンが表示される。

ボタン/操作方法	できること
I◀◀	頭出し
◀◀	早戻し
▶II もしくは画面をタッチ	再生/一時停止
▶▶	早送り
🔈	音量調整 🔈+/🔈-で調整する

ご注意

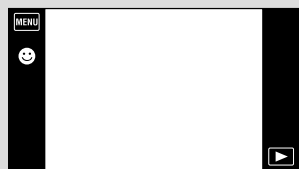
- 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。

かんたんモード

必要最低限の機能を使って静止画を撮影します。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → EASY（かんたんモード） → [OK]

ご注意
- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 再生モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード（撮影）時に使用できる機能

スマイルシャッター： ☻（スマイル）をタッチ
画像サイズ： MENU → [画像サイズ] → [大]または[小]を選ぶ
フラッシュ： MENU → [フラッシュ] → [オート]または[切]を選ぶ
セルフタイマー： MENU →[セルフタイマー]→[入]または[切]を選ぶ
かんたんモード終了： MENU → [かんたんモード終了] → [OK]をタッチ

おまかせシーン認識について

かんたんモードでは、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マーク

- （夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークが表示されます。
詳しくは57ページをご覧ください。

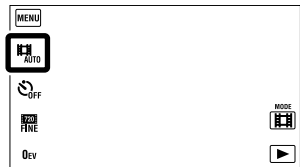
動画撮影モード

動画撮影時、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i📷(撮影モード) → 🎞(動画撮影)

3 🎞AUTO(動画撮影モード) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	🎞AUTO(オート)	カメラが自動調整する。
	🎞🐟(水中)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影できる。

スマイルシャッター

笑顔を検出すると自動で撮影します。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **☻（スマイル）をタッチする**

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

3 **笑顔を待つ**

スマイルレベルがインジケーターの▼を超えると、自動で撮影される。
スマイルシャッター中に、シャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

4 **終了するには、もう一度☻（スマイル）をタッチする**

ご注意

- “メモリースティック デュオ”/内蔵メモリーがいっぱいになると自動的に終了します。
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- デジタルズームは使えません。
- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッターは使えません。

スマイル検出感度を設定する

スマイルシャッター中、笑顔を検出する感度を設定するボタンが表示されます。

☻（大笑い）：大笑いで検出する
☻（普通の笑顔）：普通の笑顔で検出する
☻（ほほ笑み）：ほほ笑み程度でも検出する

- かんたんモード中、スマイル検出感度は［普通の笑顔］に固定されます。
- ［撮影表示設定］が［切］の場合、スマイル検出感度は表示されません。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。
帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。
目は細めにする。

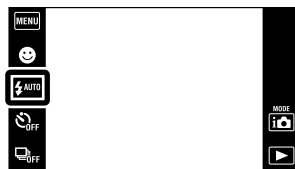
③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

- 顔検出されているうちの1人が笑えばシャッターが切れます。
- 顔検出で笑顔を検出する被写体を優先的に設定したり、検出する顔の登録ができます。選択顔を登録している場合は、その顔でのみ笑顔を検出します。別の顔を検出したいときは、その顔をタッチします（59ページ）。
- 笑顔が検出されない場合はスマイル検出感度を設定してください。

フラッシュ

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

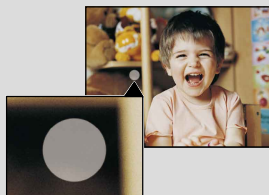
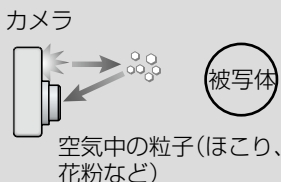
2 AUTO（フラッシュ）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	**AUTO（オート）**	暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。
	（強制発光）	フラッシュを必ず発光する。
	SL（スローシンクロ）	フラッシュを必ず発光する。 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
	（発光禁止）	フラッシュを発光しない。

ご注意

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、が表示されます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。
- おまかせオート撮影のとき、[強制発光]、[スローシンクロ]は使えません。
- スイングパノラマ、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影ではフラッシュは[発光禁止]になります。

フラッシュ撮影で白く丸い点が写るときは

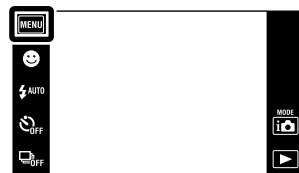
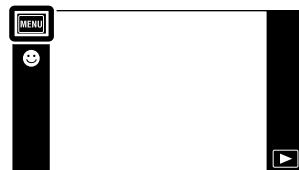
カメラの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。

軽減するには：

- 撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影する。
- シーンセレクションでISO（高感度）に設定して撮影する。（フラッシュは[発光禁止]になります）

フラッシュ

かんたん撮影モードのときは、MENUからフラッシュの設定を選びます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → EASY（かんたんモード） → [OK]

3 MENU → ［フラッシュ］ → 好みのモード

✓	オート	暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。
	切	フラッシュを発光しない。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

セルフタイマー

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 ⏲OFF（セルフタイマー）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	⏲OFF（切）	セルフタイマーを使わない。
	⏲10（10秒）	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、⏲×をタッチする。
	⏲2（2秒）	セルフタイマーを2秒後に設定する。

ご注意

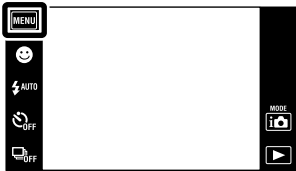
- スイングパノラマ撮影時は、セルフタイマーは無効です。

2秒のセルフタイマーを使って、手ブレを軽減する

セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、シャッターボタンを押したときのブレを防ぐことができるため、手ブレが起こりにくくなります。

セルフタイマー

かんたん撮影モードのときは、MENUからセルフタイマーの設定を選びます。

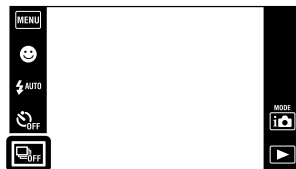
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → EASY（かんたんモード）→ [OK]

3 MENU → [セルフタイマー] → 好みのモード

	入	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、×をタッチする。
✓	切	セルフタイマーを使わない。

連写

シャッターボタンを押し続けている間、最大10枚連写します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 (連写) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	OFF(切)	1枚撮影する。
	Hi(高)	最高約10コマ/秒の速さで連写する。
	Mid(中)	最高約5コマ/秒の速さで連写する。
	Lo(低)	最高約2コマ/秒の速さで連写する。

ご注意

- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、連写できません。
- フラッシュは[発光禁止]になります。
- セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。
- 本機の撮影設定によっては、シャッタースピードが遅くなるため1秒間の連写枚数が少なくなります。
- 画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。
- 内蔵メモリー使用時は、画像サイズは[VGA]で記録されます。
- バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー/"メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいになると、連写は停止します。
- フォーカス、色合い(ホワイトバランス)、明るさ(EV補正)は最初の1枚目に設定された値に固定されます。

連写画像の記録について

連写画像の撮影後、液晶画面には撮影した枚数分の枠が一覧表示されます。枠に画像がすべて埋まると記録が完了します。

[記録中断] → [OK]をタッチすると、記録を中断できます。

中断した場合、一覧表示している画像と現在処理中の画像までが記録されます。

撮影方向

スイングパノラマ撮影時、カメラを動かす方向を設定します。

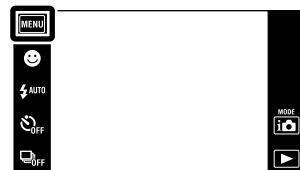
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i[カメラ](撮影モード) → スイングパノラマ
3 撮影方向 → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	(右)	左から右に向かって撮影する。
	(左)	右から左に向かって撮影する。
	(上)	下から上に向かって撮影する。
	(下)	上から下に向かって撮影する。

画像サイズ

画像サイズは写真を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → 4:3 10M（画像サイズ）→ 好みのサイズ

静止画撮影

	静止画画像サイズ	用途例	本機の液晶表示
✓	4:3 10M (3648×2736)	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3または3:2で表示。
	4:3 5M (2592×1944)	A4サイズまでの印刷	
	4:3 3M (2048×1536)	L/2L判までの印刷	
	4:3 VGA (640×480)	Eメールに添付	
	3:2 8M (3648×2432)	写真の印画紙、ポストカード同様に3:2の縦横比で撮影	
	16:9 7M (3648×2056)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA4サイズまでの印刷	画面いっぱいに表示。
	16:9 2M (1920×1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

ご注意

- 16:9で撮影した画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

かんたんモード

✓	**大**	[10M]で撮影
	小	[3M]で撮影

スイングパノラマ

1 STD（画像サイズ）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

✓	**STD 標準** **（上下方向：3424 × 1920）** **（左右方向：4912 × 1080）**	標準サイズで撮影
	WIDE ワイド **（上下方向：4912 × 1920）** **（左右方向：7152 × 1080）**	長いサイズで撮影

動画撮影

画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。

本機の動画はMPEG-4、約30フレーム/秒、プログレッシブ、AAC音声、mp4形式で記録されます。

1 720 FINE（画像サイズ）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

	動画画像サイズ	平均ビットレート	用途の例
✓	720 FINE 1280×720 （ファイン）	9Mbps	ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影
	720 STD 1280×720 （スタンダード）	6Mbps	ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影
	VGA VGA	3Mbps	WEBアップロードに適したサイズで撮影

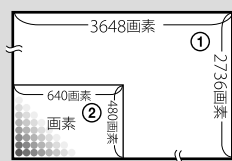
次のページにつづく↓

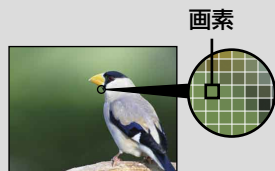
ご注意

- 動画で[VGA]を選択した場合は、望遠よりの画像になります。
- 画像サイズが[1280×720]の動画は"メモリースティック PRO デュオ"のみに記録できます。"メモリースティック PRO デュオ"以外の記録メディアをお使いの場合は、動画の画像サイズを[VGA]に設定してください。

「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素(ピクセル)」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指します。本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

① 画像サイズ:10M
3648画素×2736画素=9980928画素

② 画像サイズ:VGA
640画素×480画素=307200画素

画素数が多い
(細密で、データ量が多い)

画素数が少ない
(粗いが、データ量が少ない)

マクロ

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮影したいときに使います。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → AUTO(マクロ) → 好みのモード

✓	AUTO(オート)	遠景から近接まで自動でピントを合わせる。
	(拡大鏡入)	近距離で撮影したい場合に使用する。W側固定で約1 ～ 20 cmの間でピントを合わせる。

ご注意

- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、マクロは[オート]に固定されます。
- 拡大鏡撮影時は以下の点にご注意ください。
  – おまかせシーン認識、顔検出機能は使えません。
  – 拡大鏡モードは、電源を切ったり撮影モードを切り換えたりすると解除されます。
  – フラッシュは[強制発光]、または[発光禁止]のみになります。
  – 通常よりもピント合わせが遅くなります。

明るさ（EV補正）

－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を手動調節できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → 0EV（明るさ（EV補正））

3 ＋/－をタッチして調節 → ［OK］

調節バーの●をタッチしたまま、左右になぞることでも調節できる。

ご注意

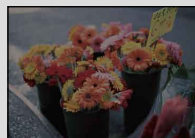
- かんたんモード中、明るさ（EV補正）は選べません。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

光の量を調整して好みの画像を撮る

露出オーバー＝光が多すぎる
画面が白くなる

明るさ（EV補正）を－側にする

露出が適正

明るさ（EV補正）を＋側にする

露出アンダー＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

ISO

プログラムオート撮影、または、シーンセレクションで (水中)を選んでいるとき、明るさの感度を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → ISO AUTO(ISO) → 好みの数値

✓	ISO AUTO(オート)	カメラが自動で設定する。
	ISO 125/ISO 200/ISO 400/ISO 800/ISO 1600/ISO 3200	暗い場所や動いている被写体を撮影する場合、ISO感度を上げる(数値を大きくする)と、ブレを軽減できる。

ご注意

- 連写時、DROが[プラス]のときは[ISO AUTO]、[ISO 125] ～ [ISO 800]までしか選べません。

ISO感度(推奨露光指数)の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。

ISO感度が高い

シャッタースピードを速くしてブレを軽減し、露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。

ただし、画像にノイズが増えます。

ISO感度が低い

ノイズの少ない画像を撮影することができます。

ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

色合い(ホワイトバランス)

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (色合い(ホワイトバランス))

3 好みのモード → [OK]

✓	(オート)	自然な色合いになるよう、ホワイトバランスを自動調節する。
	(太陽光)	晴天の屋外や、夕景、夜景、ネオン、花火などに合わせる。
	(曇天)	曇り空や日陰に合わせる。
	(蛍光灯1) (蛍光灯2) (蛍光灯3)	[蛍光灯1]:白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯2]:昼白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯3]:昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	(電球)	白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	(フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。
	(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。 [ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。 [オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]で、基準になる「白」を取り込む。

ご注意

- おまかせオート撮影時、かんたんモード中は、[色合い(ホワイトバランス)]は選べません。
- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、シーンセレクションが (高感度)のときは、[色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。
- ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[色合い(ホワイトバランス)]は[オート]になります。
- フラッシュが[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、ホワイトバランスは[オート]、[フラッシュ]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。

ワンプッシュ取込で基準の「白」を取り込む

1 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、レンズを向け、液晶画面いっぱいに表示する

2 MENU →WB AUTO（色合い（ホワイトバランス））→［ワンプッシュ取込］→［取込］

3 画面が一瞬暗くなり、ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、撮影画面に戻る

ご注意

- 撮影時、表示が点滅をしているときは、ホワイトバランスが未設定または設定できなかった場合を表しています。設定できなかった場合は［オート］で撮影してください。
- ワンプッシュ取込中は、本機を動かさないでください。
- フラッシュモードが［強制発光］または［スローシンクロ］の場合、フラッシュが発光した状態でホワイトバランスが調節されます。
- ［色合い（ホワイトバランス）］、［水中ホワイトバランス］で取り込んだ白の基準は、別々に記憶されます。

光の影響について

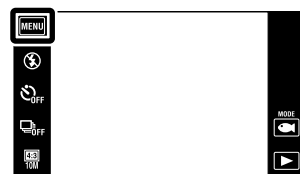
被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。
本機はこの変化を適正にするように自動調整しますが、ホワイトバランスを使うと、よりお好みの色合いに調整できます。

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

水中ホワイトバランス

シーンセレクションで(水中)、または動画撮影モードで(水中)を選んでいるときの色合いを調整します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (水中ホワイトバランス) → 好みのモード → [OK]

✓	(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
	(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
	(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
	(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。[ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。[オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む(53ページ)。

ご注意

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでもうまく合わないことがあります。
- フラッシュが[強制発光]の場合、水中ホワイトバランスは[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記憶されます。

フォーカス

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。
AFとは「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のことです。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (フォーカス)→ 好みのモード

✓	(マルチAF)	画面全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影で半押しした時には、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。 • 顔検出が働いている場合には、顔を優先したAFになります。 • シーンセレクションが(水中)のときは、水中撮影に適したAFになります。半押ししてピントが合うと、大きな枠が緑色で表示されます。	AF測距枠 (静止画のみ)
	(中央重点AF)	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。	AF測距枠
	(スポットAF)	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。	AF測距枠

ご注意

- デジタルズーム時や、[AFイルミネーター]を使用するときは、AF測距枠設定が無効になり、AF測距枠が点線で表示されます。この場合、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- [マルチAF]以外に設定しているとき、顔検出は[タッチ時]に固定されます。
- 動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、[マルチAF]で固定されます。

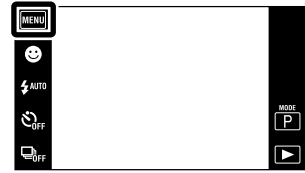
素早くピントを合わせるには

画面をタッチすると枠が表示され、シャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

測光モード

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → ⊡（測光モード） → 好みのモード

✓	⊡（マルチ）	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	⊙（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	●（スポット）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利。 スポット測光照準 被写体をここに合わせる

ご注意

- 動画撮影時は［スポット］は選べません。
- 画面をタッチしてピント合わせをしたときや、スマイルシャッター、かんたんモード中は、［マルチ］に固定されます。
- ［マルチ］以外に設定しているとき、顔検出は［タッチ時］に固定されます。

おまかせシーン認識

本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。
動きを検出すると、動きに応じてISO感度が上がり被写体ブレを軽減します（動き検出）。

逆光が働いた写真例

シーン認識マーク（ガイド）
以下のシーンを認識します。本機が最適なシーンを判別すると、各マークとガイドが表示されます。
（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i（撮影モード）→ i（おまかせオート撮影）

3 MENU → iSCN（おまかせシーン認識）→ 好みのモード

✓	iSCN（オート）	シーン認識すると、最適な設定に切り換わり、撮影する。
	iSCN+（アドバンス）	シーン認識すると、最適な設定に切り換わり、（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、自動的にもう1枚撮影される。 • 2枚撮影される場合には、iSCN+のアイコンの+部分が緑色になります。 • 2枚撮影されると、撮影直後の画像は2枚並んで表示されます。 • ［目つぶり軽減］と表示されると自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動で選ばれます。詳しくは「目つぶり軽減機能とは」をご覧ください。

ご注意

- デジタルズーム撮影時は、おまかせシーン認識は働きません。
- 連写、スマイルシャッター中は、おまかせシーン認識は［オート］に固定されます。
- フラッシュは、［オート］または［発光禁止］になります。
- （三脚夜景）認識は、カメラを三脚に固定していてもカメラに振動が伝わる環境では認識できない場合があります。
- （三脚夜景）認識されると、スローシャッターになる場合があります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにしてください。
- シーン認識マークは［撮影表示設定］の設定にかかわらず表示されます。
- 状況によっては、これらのシーンはうまく認識されない場合があります。

次のページにつづく↓

[アドバンス]で撮れる画像について

[アドバンス]では、失敗しがちな(夜景)、(夜景＆人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光＆人物)を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。
後からお好みの1枚を選ぶことができます。

	1枚目*	2枚目
(夜景)	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
(夜景＆人物)	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
(三脚夜景)	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
(逆光)	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影(DROplus)
(逆光＆人物)	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影(DROplus)

* フラッシュは[オート]の場合です。

目つぶり軽減機能とは

[アドバンス]に設定して撮影したとき、(人物)認識時はカメラが自動的に2枚撮影*し、目つぶりしていない画像が自動選択されます。目をつぶっている画像しか撮影できなかった場合は、[目つぶりを検出しました]というメッセージが表示されます。

* フラッシュ発光時または、スローシャッター時を除く

顔検出

カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ /明るさ（EV補正）/色合い（ホワイトバランス）/赤目軽減発光の調整をします。

顔検出枠（オレンジ色）
複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。
主要被写体は顔検出枠がオレンジ色になります。
シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。

顔検出枠（白色）

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → [顔検出アイコン]（顔検出）→ 好みのモード

	(タッチ時)	画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。
✓	**(オート)**	カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。
	(こども優先)	子どもの顔を優先してピント合わせする。
	(おとな優先)	大人の顔を優先してピント合わせする。

ご注意

- スイングパノラマ、動画撮影時、かんたんモード中は、[顔検出]は選べません。
- フォーカスが[マルチAF]、測光モードが[マルチ]のときのみ、[顔検出]は選べます。
- デジタルズームのとき、顔検出機能は働きません。
- 最大8人の顔を検出できます。
- 状況によっては大人、子どもが正しく検出できない場合があります。
- スマイルシャッター撮影するときは、[顔検出]を[タッチ時]に設定しても自動的に[オート]になります。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく ↓

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

通常は[顔検出]での設定に合わせ、カメラまかせでピントを合わせる顔を選びますが、優先したい顔を自分で選んで登録することもできます。

① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として登録され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。

② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。

③ 登録を解除したい場合は をタッチする。

- バッテリーを本機から取り出すと、顔の登録はリセットされます。
- 登録した顔が画面から消えた場合は、[顔検出]で選んでいる設定に戻ります。登録した顔が再び画面に映った場合は、登録した顔でピント合わせをします。
- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによって登録した顔が正しく検出できない場合があります。このときは、撮影する環境で登録し直してください。
- 顔検出枠を登録してスマイルシャッターを実行すると、その顔だけがスマイル検知の対象になります。
- かんたんモード中は、顔の登録はできません。

DRO

撮影シーンを分析し、自動補正をおこなって画質を向上させます。
DROとは「Dynamic Range Optimizer」の略で、画像の明暗の差を最適になるように自動補正する機能のことです。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 i📷（撮影モード）→ P（プログラムオート撮影）

3 MENU → DRO STD（DRO）→ 好みのモード

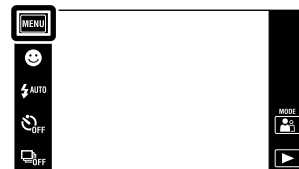
	DRO OFF（切）	補正しない。
✓	DRO STD（スタンダード）	撮影画像の明るさ、コントラストを自動補正する。
	DRO Plus（プラス）	撮影画像の明るさ、コントラストを強めに自動補正する。

ご注意

- 撮影状況によっては、補正効果を得ることができない場合があります。
- [プラス]のとき、ISOの値は、[ISO AUTO]、[ISO 125] ～ [ISO 800]までしか選べません。

目つぶり軽減

シーンセレクションで(ソフトスナップ)を選んで撮影したときに、カメラが自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動選択され表示、記録されます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 i(撮影モード)→ SCN(シーンセレクション)
→(ソフトスナップ)
3 MENU →(目つぶり軽減)→ 好みのモード

✓	AUTO(オート)	顔検出したとき、目つぶり軽減機能が働き、目つぶりしていない画像を記録する。
	OFF(切)	目つぶり軽減機能を使わない。

ご注意

- 以下のとき、目つぶり軽減機能は働きません。
  – フラッシュ発光時
  – 連写時
  – 顔検出が働かないとき
  – スマイルシャッター時
- 状況によっては目つぶり軽減できない場合があります。
- 目つぶり軽減機能を[オート]にしても、目を閉じている画像しか記録されなかった場合には、液晶画面に「目つぶりを検出しました」と表示されます。必要に応じて再度、撮影してください。

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (赤目軽減) → 好みのモード

✓	(オート)	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	ON(入)	常に赤目軽減発光する。
	OFF(切)	赤目軽減発光しない。

ご注意

- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、[赤目軽減]は選べません。
- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

その他の軽減方法

- シーンセレクションでISO(高感度)に設定して撮影する。(フラッシュは[発光禁止]になります。)
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

手ブレ補正

手ブレ補正の種類を選びます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (手ブレ補正) → 好みのモード

✓	(撮影時)	シャッターボタンを半押しすると手ブレ補正が働く。
	(常時)	常に手ブレ補正が働く。遠くを拡大して撮影するときでも構図を安定させることができる。
	(切)	使用しない。

ご注意

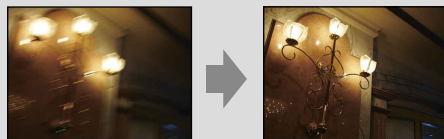
- おまかせオート撮影、シーンセレクションが(料理)のとき、かんたんモード中は、[手ブレ補正]は[撮影時]になります。
- スイングパノラマ撮影時、スマイルシャッター中は、[常時]に固定されます。
- 動画撮影では、選べる項目が[常時]と[切]のみになります。動画撮影の初期設定は、[常時]です。
- [常時]のときは、[撮影時]よりもバッテリーの消費が早くなります。

次のページにつづく↓

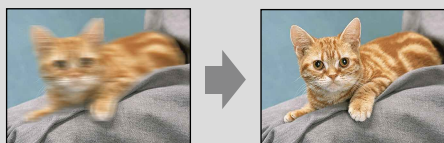
ブレを起こさないためには

撮影時にカメラが動くと「手ブレ」、被写体が動くと「被写体ブレ」が起こります。
（夜景＆人物）や（夜景）など、暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、手ブレ、被写体ブレも起こりやすくなるため、下記の軽減方法を参考にしてください。

手ブレ

シャッターボタンを押したときに、カメラを持つ手や体が揺れて画面全体がブレてしまう。

- 三脚を使用したり、カメラを平らな場所に置き、固定する。
- セルフタイマーを2秒に設定して、シャッターを押したあとにしっかりと構え直す。
- 手持ち夜景で撮影する。

被写体ブレ

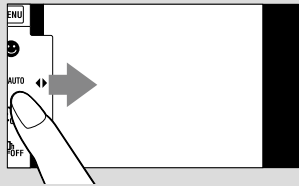
カメラを固定していても、シャッターボタンを押したときに被写体が動いてしまい、ブレが起こる。手ブレ補正機能で自動的に手ブレは軽減できますが、被写体ブレには効果はありません。

- 人物ブレ軽減撮影、ISO（高感度）モードで撮影する。
- ISO感度の設定を上げてシャッタースピードを速くし、被写体が動く前にシャッターを切る。

撮影表示設定

撮影時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → ON（撮影表示設定） → 好みのモード

✔	ON（入）	操作ボタンを表示する。
	OFF（切）	表示しない。

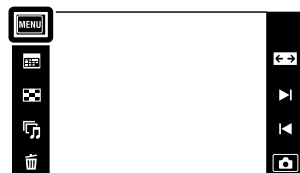
[切]のときに、操作ボタンを表示させるには

画面左側をタッチして右になぞる。

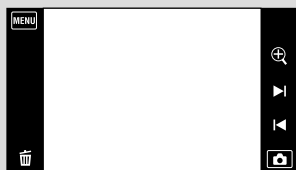
かんたんモード

撮影した静止画をみるとき、文字が大きくなり、表示が見やすくなります。
使える機能も最低限になります。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → EASY(かんたんモード) → [OK]

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード(再生)時に使用できる機能

(削除)：見ている画像を削除する。

(ズーム)：再生した画像を拡大する。

- 上下左右になぞる、または▲/▼/◀/▶でズーム位置を変更できます。⊕/⊖で倍率変更できます。

MENU：[1枚削除]で、見ている画像を削除する。
：[全て削除]で、フォルダ内すべての画像を削除する。
：[かんたんモード終了]で、かんたんモードを終了する。

カレンダー表示

日付ビューのとき、カレンダー画面から再生する日付を選べます。
すでに日付ビューの設定になっている場合は、手順2は不要です。

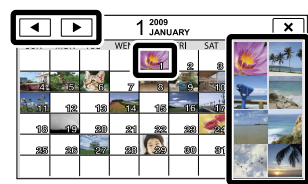
1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (ビューモード) → (日付ビュー)

3 (カレンダー表示)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

4 ◀/▶で表示したい月を選び、日付をタッチする

選択した日付の画像を上下になぞると、ページの送り戻しができ、画像をタッチすると1枚再生に戻る。

選択した日付の画像

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

一覧表示

同時に複数の画像を表示させます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 ▦(一覧表示)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

3 画面を上下になぞり、ページを送る

一覧表示画面で画像をタッチすると1枚再生に戻る。

スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 （スライドショー）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

（連続再生）	すべての画像を連続再生する。
（音楽付スライドショー）	画像に効果や音楽を付けて連続再生する。

連続再生

1 再生を開始したい画像を選ぶ
2 （スライドショー）→［連続再生］
3 終了するときは、画面をタッチして［連続再生終了］をタッチする

- 動画の音量を調節するには画面をタッチして+/-で調節してください。

連続再生中にパノラマ画像を見るときは

パノラマ画像は全体画像を3秒間表示します。
▶をタッチするとスクロール再生を行います。

ご注意

- ［連写グループ表示］が［グループ代表画像のみ表示］の場合は、代表画像のみ表示されます。

音楽付きスライドショー

1 (スライドショー) → [音楽付スライドショー]
2 好みの設定 → [実行]
3 終了するときは、画面をタッチして[スライドショー終了]をタッチする

ご注意

- パノラマ画像、動画は[音楽付きスライドショー]で再生できません。

	再生画像 再生する画像のグループを設定します。内蔵メモリー使用時は[フォルダ内]に固定されます。	
✓	**全て**	すべての静止画を順番に再生する。
	この日付	ビューモードが(日付ビュー)のとき、選択中の日付内の静止画を再生する。
	フォルダ内	ビューモードが(フォルダビュー)のとき、選択中のフォルダ内の静止画を再生する。

	エフェクト スライドショーの再生テンポや雰囲気を設定します。	
✓	**シンプル**	静止画を一定間隔で送るシンプルなスライドショー。[間隔設定]で再生間隔が変更でき、画像そのものをじっくりと楽しむことができる。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。

ご注意

- [連写グループ表示]が[グループ代表画像のみ表示]のとき、連写画像は以下のように表示されます。
  – [シンプル]のとき、代表画像1枚のみ表示。
  – [シンプル]以外で、連写画像が2枚以下の場合は代表画像のみ表示。
  – [シンプル]以外で、連写画像が3枚以上の場合は代表画像を含めた3枚を表示。

	BGM スライドショーとともに再生する音楽を設定します。複数のBGMを選ぶことが可能です。をタッチすると、各BGMが試聴できます。BGMの音量は、画面を下部の/で調節します。	
	消音	BGMはつけない。
✓	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。

次のページにつづく↓

間隔設定 画面が切り替わる間隔を設定します。[エフェクト]が[シンプル]のとき以外は[オート]に固定されます。		
	1秒	[エフェクト]が[シンプル]のときのみ。
✓	3秒	
	5秒	
	10秒	
	オート	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。

リピート スライドショーを繰り返し行うかどうかを設定します。		
✓	入	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして行います。詳しくは、116、118ページをご覧ください。

- 本機には4曲までBGMを記録できます。(出荷時には、4曲分(Music1 ～ 4)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ換えることができます。)
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長5分までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット](102ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。

削除

不要な画像を選んで削除できます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 (削除) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

(この画像)	1枚再生時に見ている画像を削除する。
(画像選択)	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、削除したい画像をタッチする。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度タッチすると、削除の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
(フォルダ内全て) (日付内全て) (グループ内全て)	選択しているフォルダ・日付・連写グループ内すべての画像をまとめて削除する。 手順2の後に、[OK]をタッチする。
(この画像以外全て)	連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。 手順2の後に、[OK]をタッチする。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示されます。

かんたんモード

1枚削除	見ている画像を削除する。
全て削除	フォルダ内すべての画像を削除する。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

一覧表示、1枚再生を切り換えながら選べます

一覧表示時に[icon]をタッチすると1枚再生に、1枚再生時に[icon]をタッチすると一覧表示になります。

- プロテクト、DPOF、印刷のときも切り換えられます。

ペイント

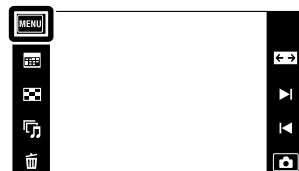
静止画に描き込みをして、新しいファイルとして記録します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → （ペイント）

内蔵メモリー時は、画面左側に表示される（ペイント）をタッチする。

3 ペイントペン（付属）を使って描きこむ

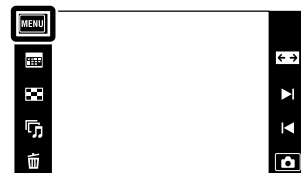
4 またはボタンをタッチ → 保存する画像サイズを選ぶ

	ボタン		できること
1	/	保存	内蔵メモリー、"メモリースティック デュオ"にVGAまたは3Mで保存する。
2		ペン	文字や絵を描く。
3		消しゴム	間違いを消す。
4		スタンプ	スタンプを押す。
5		太さ/スタンプ	ペンと消しゴムの太さ/スタンプの種類を選ぶ。
6		色	色を選ぶ。
7	×	終了	ペイントを終了する。
8		フレーム	フレームを付ける。 ◀/▶でお好みのフレームを選ぶ。
9		戻る	一つ前の状態に戻る。
10		オールクリア	ペイントを全部消す。

ご注意

- パノラマ画像、連写グループ表示された画像、動画にはペイントできません。

加工

撮影した画像に補正や特殊効果をかけ、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （加工）→ 好みのモード
3 各モードの操作方法に従って、実行する

（トリミング）	再生ズームの画像を一部切り取る。 ⊕/⊖をタッチする → ▲/▼/◀/▶で位置調整する → NEXT → ◀/▶ で保存する画像サイズを選ぶ → NEXT → [OK] • トリミングすると画質は劣化します。 • 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。
（赤目補正）	フラッシュ撮影時に赤く映った目を補正する。 赤目補正が完了したら、[OK]をタッチする。 • 画像によっては補正できない場合があります。
（ピントくっきり補正）	中心とする枠を決め、画像をくっきりと補正する。 中心とする枠をタッチする → NEXT → [OK] • 画像によっては、充分な補正がかからなかったり、画像が劣化する場合があります。

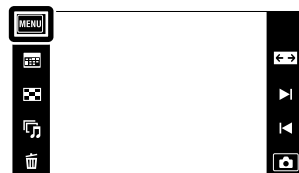
ご注意

• パノラマ画像、連写グループ表示された画像、動画には加工できません。

連写グループ表示

再生時、連写画像をグループ化して表示させるか、すべて表示させるかを選びます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → （連写グループ表示） → 好みのモード

✔	（グループ代表画像のみ表示）	連写画像をグループ化し、代表画像のみ再生する。 • 連写撮影中に顔検出した場合、本機が最適と判断した画像を代表画像とします。顔検出しなかった場合は、1枚目の画像が代表画像になります。
	（全て表示）	すべての連写画像を1枚ずつ再生する。

ご注意

• ビューモードが[フォルダビュー]のとき[全て表示]に固定されます。

連写画像を並べて表示するには

[グループ代表画像のみ表示]に設定した場合、連写画像を並べて表示できます。

① 再生モードで代表画像を表示する。

② 画像をタッチする。
画面下に連写画像が並べて表示される。

③ ►I/I◄をタッチして画像を表示する。
画面下のサムネイル画像をタッチしても表示できる。
また、画面タッチすると、画面下のサムネイル画像を表示/非表示できる。

ビューモード

画像を表示する方法を選びます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (ビューモード) → 好みのモード

✓	(日付ビュー)	日付ごとに分けて表示する。
	(フォルダビュー)	フォルダごとに表示する。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示されます。
- 本機はイベントビューに対応していません。

他機で撮影した画像を見るときは

本機で撮影した画像と、他機で撮影した画像の両方が入っている"メモリースティック デュオ"を本機に入れると、再生方法を選ぶ画面が表示されます。

管理された画像のみ再生： 設定しているビューモードで再生します。本機で撮影した画像以外は再生されない場合があります。

フォルダビューで全て再生： フォルダビューに切り替わってすべての画像を再生します。

プロテクト

撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。
登録された画像にはマークが表示されます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （プロテクト）→ 好みのモード

（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプロテクトする。
（画像選択）	画像を何枚か選んでプロテクトする。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プロテクトしたい画像をタッチする。 プロテクトしたい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プロテクトの選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
ON（フォルダ内全て設定）	フォルダビューのとき、フォルダ内すべての画像のプロテクトを設定/解除する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
OFF（フォルダ内全て解除）	
ON（日付内全て設定）	日付ビューのとき、日付内すべての画像のプロテクトを設定/解除する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
OFF（日付内全て解除）	

ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示されます。

DPOF

DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。プリントしたい画像を"メモリースティック デュオ"上に指定することができます。
登録された画像にはDPOFマークが表示されます。

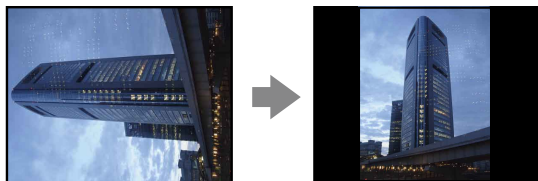
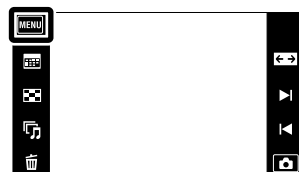
1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → DPOF → 好みのモード

DPOF(この画像)	1枚再生時に見ている画像をプリント予約する。
DPOF(画像選択)	画像を何枚か選んでプリント予約する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プリント予約したい画像をタッチする。 プリント予約したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プリント予約の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
DPOF ON(フォルダ内全て設定)	フォルダビューのとき、フォルダ内すべての画像のプリント予約を設定/解除する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
DPOF OFF(フォルダ内全て解除)	
DPOF ON(日付内全て設定)	日付ビューのとき、日付内すべての画像のプリント予約を設定/解除する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
DPOF OFF(日付内全て解除)	

ご注意

- 動画と内蔵メモリー内の画像にはプリント予約マークが付けられません。
- プリント予約マークは999枚まで付けられます。

回転

静止画を左右に回転します。横向きに表示されている画像を、縦に表示したいときに使います。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (回転)
3 / → [OK]

ご注意

- 動画、連写グループ表示された画像、プロテクトされている画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

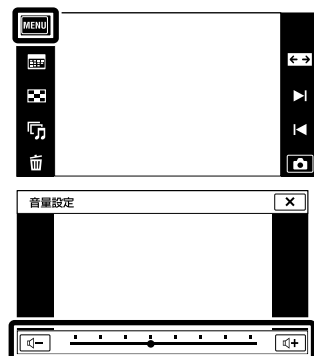
音量設定

スライドショー、動画再生時の音量を調節します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → 🔈(音量設定)

3 🔈+/🔈−をタッチして調節 → ✕

音量調節バーの●をタッチしたまま、左右になぞることでも音量調節できる。

動画再生中、スライドショー中に調節するには

動画再生： 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、🔈をタッチして🔈+/🔈−で調節します。

スライドショー： 画面をタッチして🔈+/🔈−で調節します。

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

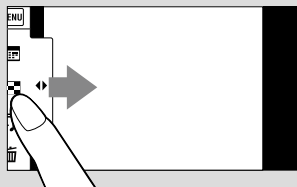
索引

再生表示設定

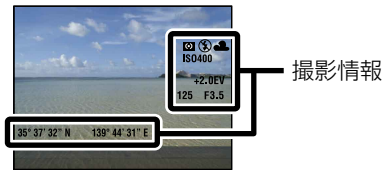
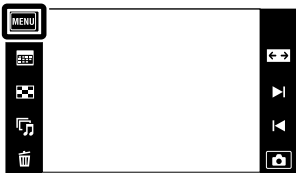
再生時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (再生表示設定) → 好みのモード

✓	(入)	操作ボタンを表示する。
	(切)	表示しない。

[切]のときに、操作ボタンを表示させるには

画面左側をタッチして右になぞる。

撮影情報表示

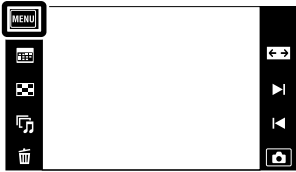
液晶画面に表示しているファイルの撮影情報を表示するかどうか設定します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (撮影情報表示) → 好みのモード

	(入)	画面に撮影情報を表示する。
✓	(切)	表示しない。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

一覧表示設定

一覧表示時、画像を表示する枚数を設定します。

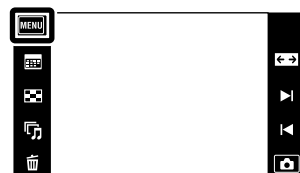
1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (一覧表示設定) → 好みのモード

	(12枚)	12枚で表示する。
✓	(28枚)	28枚で表示する。

再生フォルダ選択

“メモリースティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、再生したい画像の入っているフォルダを選びます。
すでにフォルダビューの設定になっている場合は、手順2は不要です。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (ビューモード) → (フォルダビュー)
3 MENU → (再生フォルダ選択) → ▲/▼で再生したいフォルダを選択 → [OK]

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

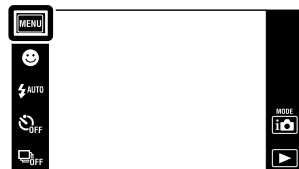
フォルダをまたいで画像を見るには

複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。

- ：前のフォルダに移動可能
- ：後ろのフォルダに移動可能
- ：前/後のフォルダに移動可能

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が発光して、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面にが表示されます。

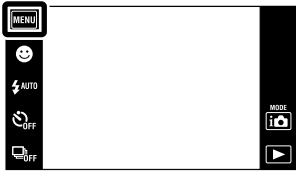
1 MENU → (設定) → (撮影設定) → [AFイルミネーター] → 好みのモード

✓	オート	AFイルミネーターを使用する。
	切	使用しない。

ご注意

- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- 以下のときは、AFイルミネーターは使えません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - シーンセレクションが (風景)、(夜景)、(ペット)、(打ち上げ花火)、(高速シャッター)に設定されているとき
  - [ハウジング]が[入]のとき
- AFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平/垂直のライン合わせができます。

1 MENU → (設定) → (撮影設定) → [グリッドライン] → 好みのモード

	入	グリッドラインを表示する。グリッドラインは記録されない。
✓	**切**	表示しない。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率(4倍)まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

1 MENU → (設定) → (撮影設定) → [デジタルズーム] → 好みのモード

✓	**スマート(sQ)**	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限する(スマートズーム)。
	プレシジョン(PQ)	画像サイズの設定にかかわらず、光学ズーム4倍含む、総合ズーム倍率約8倍までズームをする。光学ズーム倍率を超えると、画像は劣化する(プレシジョンデジタルズーム)。
	切	デジタルズームを使用しない。

ご注意

- スイングパノラマ、動画撮影時、スマイルシャッター中は、デジタルズームできません。
- 画像サイズが[10M]、[3:2 (8M)]、[16:9 (7M)]のときは、スマートズームできません。
- デジタルズームのとき、顔検出は働きません。

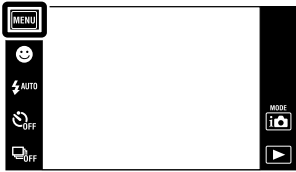
スマートズーム時の総合ズーム倍率(光学ズーム4倍含む)

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

画像サイズ	総合倍率
5M	約5.6倍
3M	約7.1倍
VGA	約22倍
16:9 (2M)	約7.6倍

縦横判別

縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示します。

1 MENU → （設定） → （撮影設定） → ［縦横判別］ → 好みのモード

✔	入	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使用しない。

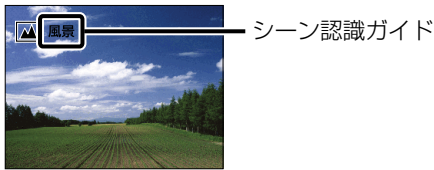
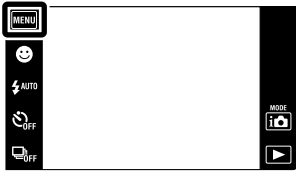
ご注意

- 縦位置の画像は左右が黒く表示されます。
- 本機の撮影角度によっては、画像の縦横向きを正しく記録できない場合があります。
- シーンセレクションが（水中）のとき、または動画撮影時は［縦横判別］は使えません。
- ACアダプター（別売）、マルチ端子専用USB・AV・DC INケーブル（別売）をお使いの場合、縦横判別できない場合があります。

撮影後に画像を回転する

画像の向きが正しく記録されなかった場合は、再生メニューの［回転］で画像を縦に表示できます。

シーン認識ガイド

おまかせシーン認識が働いているとき、シーン認識マークの横に表示されるガイドの有無を設定します。

1 MENU → （設定） → （撮影設定） → ［シーン認識ガイド］ → 好みのモード

✓	入	シーン認識ガイドを表示する。
	切	表示しない。

目つぶり通知

顔検出機能が働いているとき、目を閉じている画像を記録すると、液晶画面に「目つぶりを検出しました」というメッセージを表示します。

1 MENU → （設定）→ （撮影設定）→ ［目つぶり通知］→ 好みのモード

✓	オート	目つぶり通知を表示する。
	切	表示しない。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

操作音

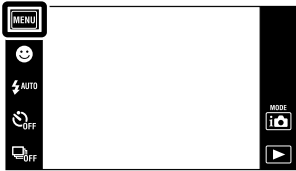
操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 MENU → (設定) → (本体設定) →
[操作音] → 好みのモード

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**大**	タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。 音を小さくしたいときは[小]にする。
	小	
	切	音は鳴らない。

画面の明るさ

液晶画面の明るさを設定します。

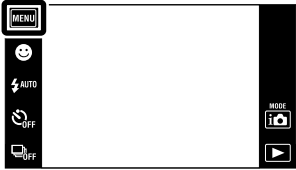
1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［画面の明るさ］ → 好みのモード

✓	**標準**	標準の明るさに設定する。
	明るい	標準より明るくする。 • 明るい屋外で使用するときに便利です。

ご注意

- ［明るい］に設定した場合、バッテリーの消費は早くなります。
- 電源を入れたまま約1分間操作しないと、液晶画面が暗くなります。

デモモード

おまかせシーン認識やスマイルシャッターのデモンストレーションの有無を設定できます。デモンストレーションを見る必要のないときは、[切]に設定します。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [デモモード] → 好みのモード

2 （撮影モード）→ （おまかせオート撮影）

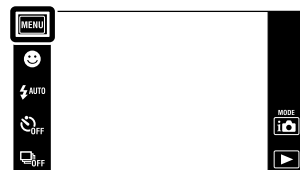
	デモモード1	おまかせシーン認識のデモンストレーションを行う。
	デモモード2	15秒間操作を行わないと自動でスマイルシャッターのデモンストレーションを行う。
✓	**切**	デモンストレーションを行わない。

ご注意

- スマイルシャッターのデモンストレーション中、シャッターボタンを押すとシャッターは切れますが、画像は記録されません。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [設定リセット] → [OK]

ご注意

- 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

コンポーネント出力

本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続する場合に、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定します。
「Type1a」対応のHD出力アダプターケーブル（別売）をお使いください。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［コンポーネント出力］ → 好みのモード

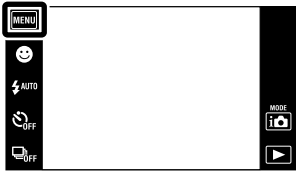
✓	HD（D3）	D3/D4/D5端子があるテレビと接続するときに選ぶ。
	SD	D1/D2端子があるテレビと接続するときに選ぶ。

ご注意

- 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続した状態で動画を撮影した場合、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [ビデオ信号出力] → 好みのモード

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する（欧州、中国など）。

ハウジング

ハウジング（マリンパック）装着時専用の操作ボタンを表示します。ハウジングの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［ハウジング］ → 好みのモード

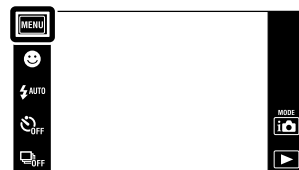
	入	ボタンの働きを変更する。
✓	切	ボタンの働きを変更しない。

ご注意

- 画面をタッチしてピント合わせをすることができません。
- 機能の一部が制限され、液晶画面上のアイコンの配置が変わります。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定します。

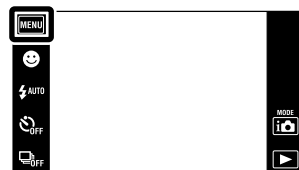
1 MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続] → 好みのモード

✓	オート	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する。
	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する。
	PTP/MTP	本機とパソコンを接続した場合は自動再生ウィザードが起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の静止画をパソコンに取り込む。(Windows Vista/XP、Mac OS Xに対応)
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する。

ご注意

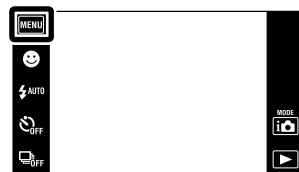
- [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。
- [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。
- [PTP/MTP]では、動画の取り込みはできません。動画をパソコンに取り込むときは、[オート]または[Mass Storage]に設定してください。

BGMダウンロード

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使ってBGMの入れ換えをするときに使用します。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [BGMダウンロード]
「スライドショー用の音楽を変更　PCと接続してください」というメッセージが表示される。
2 本機とパソコンをUSB接続し、「Music Transfer」を起動する
3 画面の操作手順に従って、BGMファイルの入れ換えを行う

BGMフォーマット

本機に入っているBGMをすべて削除します。BGMファイルが破損して再生ができない場合などに使います。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [BGMフォーマット] → [OK]

出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使うと、出荷時の曲を再び本機に戻せます。

① [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンをUSB接続する。

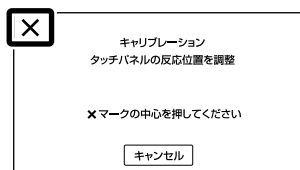
② 「Music Transfer」を起動して、すべて初期の曲に戻す。

- 「Music Transfer」の使いかたについて詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

キャリブレーション

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときキャリブレーションを行います。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [キャリブレーション]

2 ペイントペンを使って画面に表示される×マークの中心を順番に押していく

ご注意

- [キャンセル]をタッチしてキャリブレーションを途中でやめた場合は、ここまでの調整は反映されません。
- 正しい位置を押さなかった場合、キャリブレーションが行われません。×マークの中心を押しなおしてください。

フォーマット

“メモリースティック デュオ”または内蔵メモリーをフォーマット(初期化)します。市販の“メモリースティック デュオ”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

1 MENU → (設定) → (“メモリースティック”ツール)、または (内蔵メモリーツール) → [フォーマット] → [OK]

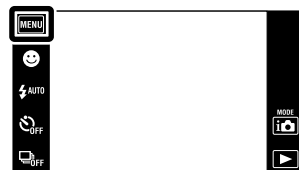
ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

記録フォルダ作成

“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成します。
画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。

1 MENU → (設定) → (“メモリースティック”ツール) → [記録フォルダ作成] → [OK]

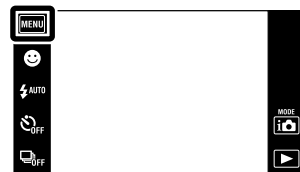
ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 他機で使用していた“メモリースティック デュオ”を本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダを作成する場合があります。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚です。フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

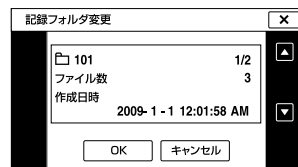
フォルダについて

新しいフォルダを作ると、記録先フォルダを変更したり（106ページ）、再生時のフォルダを選択（86ページ）できます。

記録フォルダ変更

“メモリースティック デュオ”の中の、画像を記録するフォルダを変更します。

1 MENU → (設定)→ (“メモリースティック”ツール) → [記録フォルダ変更]

2 記録したいフォルダを選択 → [OK]

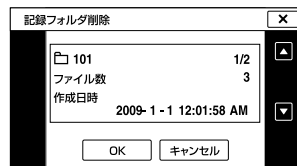
ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 以下のフォルダは記録フォルダとして選べません。
  –「100」フォルダ
  –「□□□MSDCF」と「□□□MNV01」のどちらか一つしかない番号のフォルダ
- 記録した画像は、別のフォルダには移動できません。

記録フォルダ削除

“メモリースティック デュオ”の中の、画像を記録するフォルダを削除します。

1 MENU → (設定) → (“メモリースティック”ツール) → [記録フォルダ削除]

2 削除したいフォルダを選択 → [OK]

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 記録フォルダとして設定しているフォルダを[記録フォルダ削除]で削除した場合、フォルダ番号が一番大きいフォルダが次の記録フォルダとして選ばれます。
- フォルダの中が空の場合のみ削除できます。画像や本機で再生できないファイルが入っている場合は、それらを削除してから行ってください。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、"メモリースティック デュオ"に一括コピーします。

1 充分な空き容量のある"メモリースティック デュオ"を本機に入れる

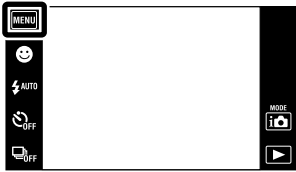
2 MENU → (設定)→ ("メモリースティック"ツール) → [コピー] → [OK]

ご注意

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後に"メモリースティック デュオ"を本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください。
- データをコピーすると"メモリースティック デュオ"内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。

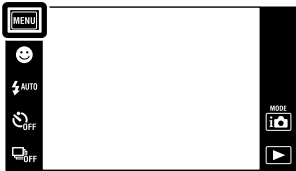
ファイル番号

撮影画像のファイル番号の付けかたを設定します。

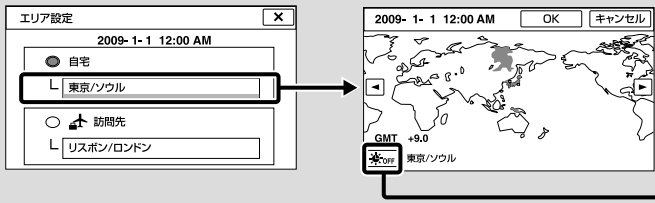
1 MENU → (設定) → (“メモリースティック”ツール)、または (内蔵メモリーツール) → [ファイル番号] → 好みのモード

✔	連番	記録フォルダを変更したり、“メモリースティック デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。(取り換えた“メモリースティック デュオ”内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。)
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。(記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号+1のファイル番号を付ける。)

エリア設定

本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。

1 MENU → 🧰（設定）→ 🕘（時計設定）→［エリア設定］→ 好みのモード

✓	自宅	お住まいの地域で使用する。
	訪問先	訪問先の時刻に合わせて使用する。 訪問先のエリアを設定する。

エリアを変更するには

よく訪れる訪問先がある場合、設定しておくと訪問時に簡単に時刻合わせができます。

① 「訪問先」のエリア部分をタッチし、◀/▶でエリアを選び［OK］をタッチする。
② サマータイムアイコンをタッチして、サマータイムの入/切を選ぶ。

日時設定

時刻を再設定します。

1 MENU → (設定) → (時計設定) → [日時設定] → 好みのモード

表示形式	日付表示順を選ぶ。
サマータイム	サマータイムの入/切を選ぶ。 日本国内で使用するときは、[切]を選ぶ。
日時	日付、時刻を設定する。

ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

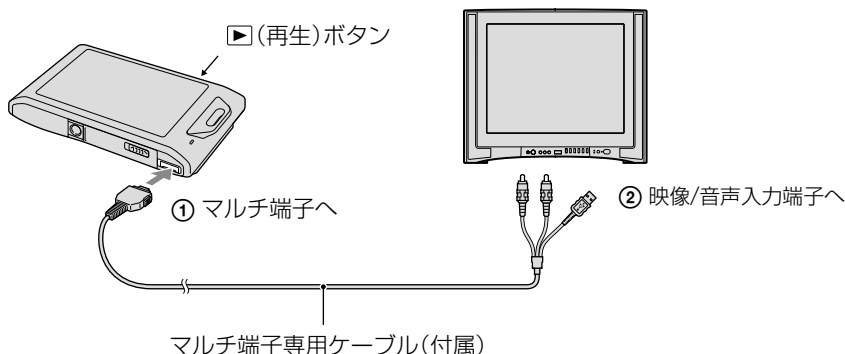
サマータイムとは

夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを[入]にすると、時計が1時間進みます。

SD(標準)画質のテレビで見る

本機とテレビを接続すると、撮影した画像をSD（標準）画質で見られます。
テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル(付属)で接続する

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の ▶I/I◀ をタッチして画像を選ぶ。

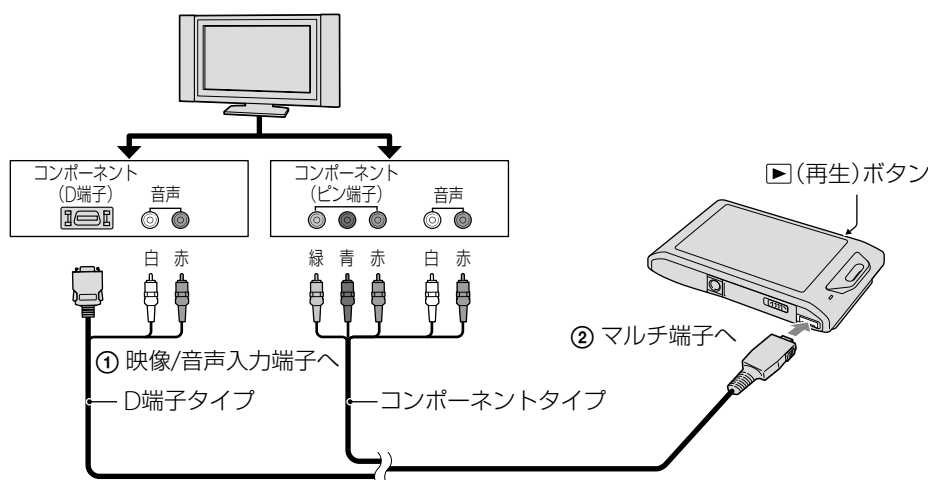
ご注意

- 1枚再生時、テレビ側にはアイコンが表示されません。
- テレビ出力中、[かんたんモード]では再生できません。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。
- 海外で見るときは、[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(98ページ)。

HD(ハイビジョン)画質のテレビで見る

本機とハイビジョンテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、撮影した画像をHD(ハイビジョン)画質で見られます。「Type1a」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。
テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)で接続する

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の ▶I/I◀ をタッチして画像を選ぶ。

ご注意

- あらかじめ、MENU → (設定) → (本体設定)で、[コンポーネント出力]を[HD(D3)]にしてください。
- 1枚再生時、テレビ側にはアイコンが表示されません。
- 画像サイズを[VGA]にして撮影した画像は高画質再生できません。
- [かんたんモード]では再生できません。
- 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。
- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(98ページ)。
- お使いのハイビジョンテレビに合ったHD出力アダプターケーブルをお買い求めください。

次のページにつづく↓

ブラビア プレミアムフォトについて

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビにHD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質で快適にお楽しみいただけます。

- "ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。
- 詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、
CD-ROM（付属）には「PMB」などが収録されています。

パソコンの推奨環境（Windows）

	OS（工場出荷時にインストールされていること）	その他
「PMB」、「Music Transfer」使用時、画像を取り込むとき	Microsoft Windows XP* SP3/ Windows Vista SP2	**CPU**：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生・編集時は、Intel Pentium 4 2.8 GHz以上/Intel Pentium D 2.8 GHz以上/Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.20 GHz以上） **メモリ**：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上） **インストール時に必要なハードディスク容量**：約500 MB **ディスプレイ**:1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

パソコンの推奨環境（Macintosh）

	OS（工場出荷時にインストールされていること）	その他
「Music Transfer」使用時、画像を取り込むとき	Mac OS X（v10.3 ～ v10.5）	**メモリ**：64 MB以上（128 MB以上を推奨） **インストール時に必要なハードディスク容量**：約50 MB

ご注意

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（hi-speed転送）が行えます。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェアを使う

「PMB（Picture Motion Browser）」、「Music Transfer」をインストールする（Windows）

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ （SONYPICTUTIL）の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exe.の実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 [インストール]をクリックする

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合には○を◉に変え、[次へ]をクリックする

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す

7 ソフトウェアを起動する。

「PMB」を起動するときは、デスクトップ上の「PMB」をクリックする。

詳しい使い方は「PMBガイド」をクリックして確認する。

スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] より実行する。

ご注意

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- 「Music Transfer」を起動する前に、MENU → （設定） → （本体設定） → [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンを接続してください。
- 「PMB」の初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。

次のページにつづく↓

「PMB」のご紹介

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[取り込み開始]をクリックします。
- パソコンにある画像を、"メモリースティック デュオ"に書き出し、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、画面上部のをクリックし、[書き出し開始]をクリックします。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の補正(赤目補正など)、撮影日時の変更ができます。
- 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます。(インターネット接続環境が必要です)
- その他詳しくは、(PMBガイド)をご覧ください。

「MusicTransfer」のご紹介

出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えたり、BGMファイルの削除や追加ができます。
また、出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すこともできます。

「MusicTransfer」で取り組むことができる曲の種類は、下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

その他詳しくは、「MusicTransfer」のヘルプをご覧ください。

「Music Transfer」をインストールする（Macintosh）

1 Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる

2 (SONYPICTUTIL)をダブルクリックする

3 [Mac]フォルダの中の[MusicTransfer.pkg]をダブルクリックする

インストールが始まる。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。
- 「Music Transfer」の機能について詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。
- 「Music Transfer」を起動する前に、MENU → (設定) → (本体設定)→ [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンを接続してください。
- インストールする前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

「MusicTransfer」のご紹介

出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えたり、BGMファイルの削除や追加ができます。
また、出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すこともできます。

「MusicTransfer」で取り組むことができる曲の種類は、下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

その他詳しくは、「MusicTransfer」のヘルプをご覧ください。

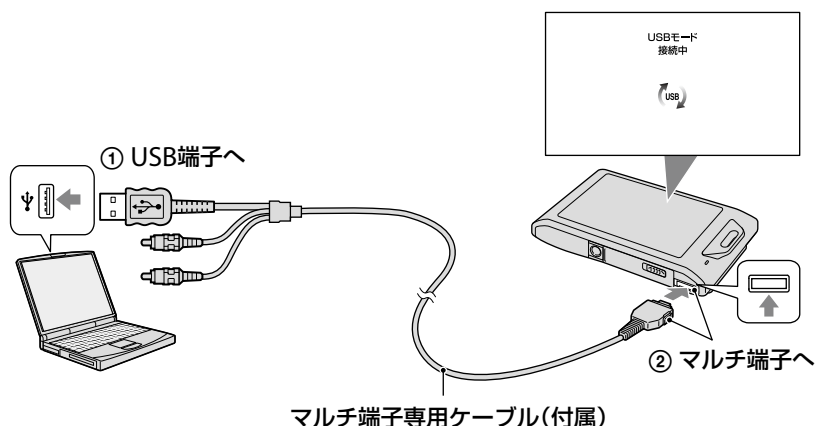
本機とパソコンを接続する

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、または ACアダプター AC-LS5K/AC-LS5A（別売）とマルチ端子専用USB・AV・DC INケーブル（別売）で本機とコンセントを接続する

• 「Type1a」対応のUSB・AV・DC INケーブル（別売）をお使いください。

2 パソコンの電源を入れ、本機の▶（再生）ボタンを押す

3 本機とパソコンを接続する

• 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

画像を取り込んで見る（Windows）

「PMB」を使うと、簡単に画像を取り込めます。
「PMB」の機能について詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

「PMB」を使わずに画像をパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM] をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

画像を取り込んで見る（Macintosh）

1 **本機とパソコンを接続したら、デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン→［DCIM］→取り込みたい画像の入ったフォルダの順にダブルクリックする**

2 **画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする**

ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

- 画像ファイルの保存先とファイル名については、140ページをご覧ください。

3 **ハードディスクアイコン→画像ファイルの順にダブルクリックする**

画像が表示される。

パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、1～3の手順をあらかじめ行ってください。

- マルチ端子専用ケーブルを抜く
- "メモリースティック デュオ"を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、"メモリースティック デュオ"を本機に入れる
- 本機の電源を切る

1 **タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする**

2 **(USB大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする**

3 **取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする**

ご注意

- Macintosh使用時は、あらかじめ"メモリースティック デュオ"またはドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

「サイバーショットステップアップガイド」を見る

本機をよりよく使うために、別売りアクセサリーの紹介をしています。

Windowsで見る

「サイバーショットステップアップガイド」は、「サイバーショットハンドブック」をインストールすると同時にインストールされます。

1 **デスクトップ上の （ステップアップガイド）をダブルクリックする**

　スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] → [ステップアップガイド]の順にクリックする。

Macintoshで見る

1 **[stepupguide]フォルダ内の[stepupguide]フォルダをパソコンにコピーする**

2 **[stepupguide] → [language] → [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内のすべてのファイルを、手順1でパソコンにコピーした[stepupguide]フォルダ内の[img]フォルダに上書きコピーする**

3 **コピーが完了したら、[stepupguide]フォルダ内の“stepupguide.hqx”をダブルクリックして解凍し、“stepupguide”をダブルクリックする**

ご注意

- お使いのMacintoshにHQXファイルの解凍ソフトが インストールされていない場合は、Stuffit Expanderをインストールしてください。

静止画をプリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（PictBridge対応プリンター使用）
- ダイレクトプリント（"メモリースティック"対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。
- お店でプリント（124ページ）

ご注意

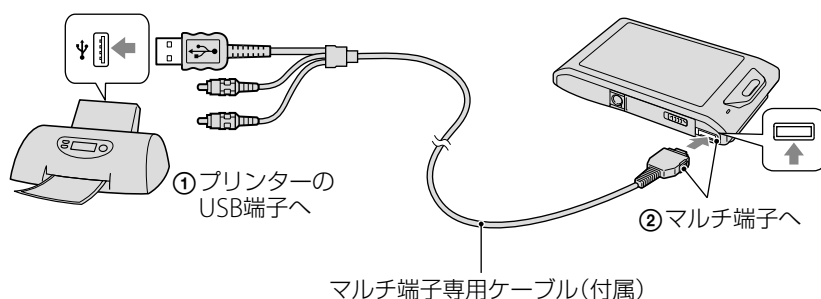
- [16:9]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。
- お使いのプリンターによっては、パノラマ画像は印刷できません。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる

2 本機とプリンターを接続する

3 本機とプリンターの電源を入れる

接続が完了すると、画面にマークが表示される。

マークが点滅したときは、プリンターからのエラー通知です。接続しているプリンターを確認してください。

4 MENU → (印刷) → 好みのモード

この画像	1枚再生時に見ている画像を印刷する。
画像選択	画像を何枚か選んで印刷する。 手順4の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プリントしたい画像をタッチする。 印刷したい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、削除の選択は解除される。 ② [OK]→[OK]をタッチする。
フォルダ内全て **日付内全て**	選択しているフォルダ、日付内すべての画像を印刷する。 手順4の後に[OK]をタッチする。

5 好みの設定項目 → [実行]

枚数	指定した画像のプリント枚数を選ぶ。 • インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらない場合があります。
レイアウト	1枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。
サイズ	用紙サイズを選ぶ。
日付	日時を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。 • [年月日]を選ぶと、本機の日時設定で選んだ年月日の表示順で挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

ご注意

- 動画はプリントできません。
- プリンターに接続できなかった場合は、[本体設定]の[USB接続]を[PictBridge]にしてください。
- (PictBridge接続中)マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

お店でプリントする

画像を撮影した"メモリースティック デュオ"をプリントサービス店に持参します。
DPOF規格対応のお店でプリントするときは、再生メニューでDPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。"メモリースティック デュオ"にコピーして（108ページ）、プリントサービス店にお持ちください。
- 対応している"メモリースティック デュオ"の種類はお店にお問い合わせください。
- "メモリースティック デュオ"に対応していないプリントサービス店の場合は、CD-Rなどに画像データをコピーして持参してください。
- "メモリースティック デュオ"アダプター（別売）が必要な場合があります。お店にお問い合わせください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **126 ～ 134ページの項目をチェックし、本機を点検する。**

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、135ページをご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする（96ページ）。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトなどで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。**

- 内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種の修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために必要最小限の範囲でデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。 あらかじめご了承ください。
- 指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/di-repair/

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が2分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーの寿命です（143ページ）。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャーを使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲（10 ℃～ 30 ℃）で充電してください。
- 詳しくは、143ページをご覧ください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認してください。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(73ページ)。
  – "メモリースティック デュオ"を交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 画像サイズが[1280×720]の動画は"メモリースティック PRO デュオ"のみに記録できます。"メモリースティック PRO デュオ"以外の記録メディアをお使いの場合は、動画の画像サイズを[VGA]に設定してください。
- デモモードを[切]にしてください(95ページ)。

スマイルシャッター撮影ができない。

- 笑顔が検出されない場合は撮影されません。
- デモモードを[切]にしてください(95ページ)。

手ブレ補正が効かない。

- 液晶画面に が表示されていると、手ブレ補正は効いていません。
- 暗所では、手ブレ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定速度よりも遅くなると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR(ノイズリダクション)スローシャッターといい、撮影に時間がかかります。
- 目つぶり軽減機能が働いています。目つぶり軽減の[オート]を[切]にしてください(62ページ)。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。最短撮影距離(おまかせオート撮影時、かんたんモード時はレンズ先端からW側約1 cm、T側約50 cm。それ以外の撮影モード時はレンズ先端からW側約8 cm、T側約50 cm)より離して撮影してください。または拡大鏡モードにし、W側約1 ～ 20 cmの距離で撮影してください。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの (風景)、 (夜景)、 (打ち上げ花火)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。

ズームできない。

- スイングパノラマ撮影時、拡大鏡モード時は光学ズームできません。
- 画像サイズによってはスマートズームができません(89ページ)。
- 以下のときデジタルズームは使えません。
  – 動画撮影時
  – スマイルシャッターモード時

顔検出機能が選べない。

- フォーカスを[マルチAF]、測光モードを[マルチ]以外に設定しているときのみ、[顔検出]を選べます。
- 拡大鏡モード時、[顔検出]は選べません。

フラッシュ撮影ができない。

- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  – 連写時（44ページ）
  – シーンセレクションの ISO（高感度）、（夜景）、（打ち上げ花火）が選ばれているとき
  – スイングパノラマ、動画撮影、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時
- 拡大鏡モード時、またはシーンセレクションの（風景）、（料理）、（ペット）、（ビーチ）、（スノー）、（水中）、（高速シャッター）が選ばれているときは、[強制発光]にしてください（40ページ）。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした白く丸い点が写っている。

- 空気中の粒子（ほこり、花粉など）がフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影（マクロ撮影／拡大鏡撮影）ができない。

- シーンセレクションの（風景）、（夜景）、（打ち上げ花火）が選ばれているときは、近接撮影できません。
- 拡大鏡モードが選ばれている場合の撮影範囲は、約1 cm ～ 20 cmです。
- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、マクロは[オート]に固定されます。

マクロ撮影が解除できない

- マクロ解除の機能はありません。[オート]の場合は、そのまま遠景の撮影が可能です。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます（116ページ）。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。明るさ（EV補正）を設定してください（50ページ）。

画像の色が正しくない。

- [色合い（ホワイトバランス）]を調整してください（52ページ）。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- [赤目軽減]を[オート]または[入]にしてください（63ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影してください。
- 室内を明るくして撮影してください。
- 再生メニューの[加工] →[赤目補正]を行う、または「PMB」で修正してください。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

連写できない。

- スマイルシャッター中は連写できません。
- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいです。不要な画像を削除してください(73ページ)。
- バッテリーの残量が足りません。充電されたバッテリーを取り付けてください。

同じ画像が数枚撮影される。

- [連写]を[切]にしてください(44ページ)。
- [おまかせシーン認識]が[アドバンス]になっています(57ページ)。

画像を見る

再生できない。

- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください(120ページ)。
- 他機で撮影した"メモリースティック デュオ"では再生できない場合があります。フォルダビューで再生してください(78ページ)。
- パソコン内の画像を「PMB」を使わずに"メモリースティック デュオ"にコピーしたためです。フォルダビューで再生してください(78ページ)。

撮影日時が表示されない。

- [再生表示設定]が[切]になっています。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

画面の左右が黒く表示される。

- [縦横判別]が[入]になっています(90ページ)。

ボタンやアイコンが消えてしまった。

- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。
- [撮影表示設定]、[再生表示設定]が[切]になっています。画面の左側をタッチして右になぞってください(66、83ページ)。

スライドショー時に音楽(BGM)が流れない。

- 「Music Transfer」を使って本機に音楽を入れてください(116、118ページ)。
- 音量設定とスライドショーの設定を確認してください(71、82ページ)。
- [連続再生]で再生している。[音楽付スライドショー]を選んで再生してください。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認してください(98ページ)。
- 接続が正しいか確認してください(112、113ページ)。
- マルチ端子専用ケーブルがUSB端子に接続されている場合は、はずしてください(120ページ)。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

画像を削除する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除してください(79ページ)。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"スロット付きパソコンで"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが"メモリースティック PRO デュオ"に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、バイオのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック PRO デュオ"非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください(119、120ページ)。パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付けてください。またはACアダプター(別売)を使用してください。
- [USB接続]を[オート]または[Mass Storage]にしてください(100ページ)。
- 接続には、マルチ端子専用ケーブルを使ってください。
- 一度パソコンと本機からマルチ端子専用ケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください(119ページ)。
- パソコンでフォーマットした"メモリースティック デュオ"で撮影した場合、画像をパソコンへ取り込めないことがあります。本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"で撮影してください(104ページ)。

USB接続をしたときに「PMB」が自動起動しない。

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続してください。

画像を再生できない。

- 「PMB」をお使いの場合は、「PMBガイド」をご覧ください（116ページ）。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生してください（119ページ）。

パソコンから書き出した画像ファイルが本機で見られない。

- 「101MSDCF」など本機で認識するフォルダに書き出してください（140ページ）。
- 「PMB」を使わずに画像を本機に書き出した場合、情報が正しく更新されず、画像がブルーになるなど正しく表示されない場合があります。これらは故障ではありません。
- 画像がブルーで表示された場合はフォルダビューでご覧になるか、本機で削除してください。
- 本機はイベントビューに対応していません。

"メモリースティック デュオ"

本機に入らない。

- 正しい向きで入れてください。

誤ってフォーマットしてしまった。

- "メモリースティック デュオ"内のデータはすべて消去され、元に戻せません。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機に"メモリースティック デュオ"が入っています。取りはずしてください。

内蔵メモリー内のデータを"メモリースティック デュオ"にコピーできない。

- "メモリースティック デュオ"の空き容量がありません。充分な空き容量のある"メモリースティック デュオ"にコピーしてください。

"メモリースティック デュオ"やパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- "メモリースティック デュオ"やパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「PMB」を使って印刷すると日付挿入ができます（116ページ）。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認してください。
- [USB接続]を[PictBridge]にしてください（100ページ）。
- マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直してください。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがマルチ端子専用ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- プリンターの電源が入っているか確認してください。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に[終了]を選ぶと、再びプリントできない場合があります。マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直してください。それでも復帰しないときは、マルチ端子専用ケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直してください。
- 動画はプリントできません。
- 他機で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。
- プリンターによっては、パノラマ画像をプリントできない場合や、パノラマ画像が切れてプリントされる場合があります。

プリントが中断される。

- ⎘(PictBridge接続中)マークが消える前に、マルチ端子専用ケーブルを抜いていないか確認してください。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応していません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていません。[日付]を[切]にしてプリントしてください(122ページ)。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度マルチ端子専用ケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていません。本機の用紙サイズ設定を変更する(122ページ)か、プリンターの用紙設定を変更してください。
- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

タッチパネル

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節([キャリブレーション])してください(103ページ)。
- [ハウジング]が[入]になっています(99ページ)。

ペイントペンの先をあてた位置がずれて表示される。

- 画面を調節([キャリブレーション])してください(103ページ)。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用してください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 日付/時刻を設定し直してください(111ページ)。
- 充電式バックアップ電池が放電しています。充電したバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

日付/時刻がずれている。

- エリア設定で現在地と異なった場所が設定されています。MENU → (設定) → (時計設定) → [エリア設定]で設定し直してください。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでソニーの相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すか"メモリースティック デュオ"を数回抜き差ししてください。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままです。または、フォーマットしていない"メモリースティック デュオ"が入っています。フォーマットしてください(104ページ)。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っています。またはデータが壊れています。"メモリースティック デュオ"を交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセット(96ページ)してから、電源を入れてください。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BD1(付属)またはNP-FD1(別売)以外のバッテリーを使っています。

システムエラー

- 電源を入れ直してください。

しばらく使用できません
カメラの温度が下がるまでお待ちください

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、動画撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直してください。

“メモリースティック”を入れ直してください

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っています(141ページ)。
- “メモリースティック デュオ”端子が汚れています。
- “メモリースティック デュオ”が壊れています。

非対応の“メモリースティック”です

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っています(141ページ)。

この“メモリースティック”は記録/
再生できない可能性があります

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っています(141ページ)。

内蔵メモリーフォーマットエラー
“メモリースティック”フォーマットエラー

- フォーマットし直してください(104ページ)。

“メモリースティック”がロックされています

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

読み出し専用の“メモリースティック”です

- この“メモリースティック デュオ”への画像記録や消去はできません。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていません。
- “メモリースティック デュオ”内に再生可能な画像が記録されていません。
- 他機で撮影した画像を再生できない場合は、フォルダビューで再生してください(78ページ)。

対象画像がありません

- スライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダまたは日付を選択しています。

本機で認識できないファイルがあります

- 本機で再生できないファイルがあるフォルダを削除しようとしています。パソコンで削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダが"メモリースティック デュオ"内にあります（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選ぶか、フォルダを作成してください（105、106ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダが"メモリースティック デュオ"内にあります。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

フォルダ内を空にしてください

- ファイルがあるフォルダを削除しようとしています。ファイルをすべて削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダがプロテクトされています

- パソコンなどで読み取り専用にしたフォルダを削除しようとしています。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生しました。
  パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保障しません。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択しました。他のフォルダを選択してください（106ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除してください（79ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしています。

対象を検出できませんでした

- 画像によっては加工できない場合があります。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用したり、手ブレ補正をオンにしてください。または、三脚などで本機をしっかりと固定してください。

1280×720(ファイン)に対応していません
1280×720(スタンダード)に対応していません

- [1280×720]の動画に対応しているのは"メモリースティック PRO デュオ"のみです。"メモリースティック PRO デュオ"を入れるか、画像サイズを[VGA]に設定してください。

制限枚数を超えています

- ［画像選択］で選べるファイルは100枚までです。
- DPOF、プロテクト、印刷時、［日付内全て］/［フォルダ内全て］で選べるファイルは999枚までです。
- **DPOF**（プリント予約）マークが付けられるファイルは999枚までです。選択を解除してください。

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性があります。
  マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っています。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

BGMエラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ換えてください。
- BGMフォーマットをしてから、正常なデータをダウンロードしてください。

BGMフォーマットエラー

- BGMフォーマットをし直してください。

非対応ファイルでは
この操作を実行できません

- パソコンで画像を加工したファイルや、他機で撮影した画像は、加工などの編集機能は使えません。

管理ファイル修復中

- パソコンで画像を削除した場合などに日付情報などを修復します。

FULL

- 本機で日付を管理できる枚数を超えています。日付ビューで画像を削除してください。

管理ファイルエラー
修復できません

- 「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、"メモリースティック デュオ"または内蔵メモリーをフォーマットしてください（104ページ）。
  「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込めなかった場合は、「PMB」を使わずにすべての画像をパソコンに取り込んでください（119ページ）。
  再び、本機で画像を見るには、取り込んだ画像を「PMB」で本機に書き出してください。

カメラの温度が高いため
しばらく録画できません

- カメラの温度が高くなっている。下がるまで撮影できません。

カメラの温度が上がったため
録画を停止しました

- 動画記録中に温度が上昇したため、録画を停止します。温度が下がるまでお待ちください。

[!]

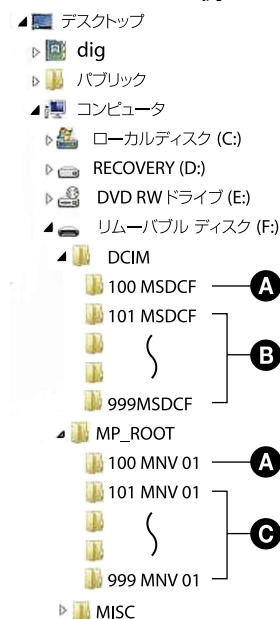
- 長時間動画を撮影し、カメラの温度が上がっています。動画撮影を終了してください。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“メモリースティック デュオ”または内蔵メモリー内のフォルダにまとめられています。

Ⓐ フォルダ作成機能のないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ。
Ⓑ 本機で撮影した静止画ファイルのフォルダ。
Ⓒ 本機で撮影した動画ファイルのフォルダ。

Windows Vistaの例

デスクトップ
dig
パブリック
コンピュータ
ローカルディスク (C:)
RECOVERY (D:)
DVD RW ドライブ (E:)
リムーバブル ディスク (F:)
DCIM
100 MSDCF — Ⓐ
101 MSDCF ～ 999MSDCF — Ⓑ
MP_ROOT
100 MNV 01 — Ⓐ
101 MNV 01 ～ 999 MNV 01 — Ⓒ
MISC

ご注意

- 「100MSDCF」、「100MNV01」フォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- 「MISC」フォルダは、本機で記録/再生できません。
- 画像ファイル名は、下記のようになります。
  - 静止画ファイル：DSC0□□□□.JPG
  - 動画ファイル
    1280×720：M4H0□□□□.MP4
    VGA：M4V0□□□□.MP4
  - 動画撮影時に記録されるインデックス画像ファイル
    1280×720：M4H0□□□□.THM
    VGA：M4V0□□□□.THM

  □□□□は0001 ～ 9999の半角数字、動画ファイルとそのインデックス画像ファイル名の数字部分は同じです。

“メモリースティック デュオ”について

“メモリースティック デュオ”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック デュオ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○*1
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*2
マジックゲートメモリースティック デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO デュオ	○*2*3
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*2*3*4

*1 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応していません。

*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*3 動画の[1280×720]の記録ができます。

*4 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

ご注意

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体および“メモリースティック デュオ” アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

次のページにつづく↓

- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック デュオ” アダプター（別売)使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- “メモリースティック デュオ” アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ”（別売)使用上のご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は16 GBまでです。

“メモリースティック マイクロ”（別売)使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリースティック”対応表」をご確認ください。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

バッテリーについて

バッテリーの充電について

- 周囲の温度が10 ℃～ 30 ℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（70ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ず付属のバッテリーケースをご使用ください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

- NP-BD1（付属）は、Dタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。
  Tタイプなどに対応したサイバーショットではお使いになれません。
- 別売のバッテリー NP-FD1をお使いになると、残量表示の後に分表示（60分）も出ます。

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、Dタイプ、Tタイプ、Rタイプ、Eタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。
  指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 本機に対応しているバッテリーは、Dタイプです。また、付属のバッテリーは、NP-BD1（Dタイプ）です。
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再びCHARGEランプが点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。
  指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど、別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、バッテリーの異常が考えられます。

インテリジェントパンチルターについて

インテリジェントパンチルター（別売）を使うと、人の顔を検出し自動撮影を行います。
詳しくは、インテリジェントパンチルターに付属の取扱説明書をご覧ください。

索引

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「zlib」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

本製品は、 MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
(i)消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG 4 VIDEOといいます)にエンコードすること。
(ii)MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、 MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、 Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。
PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。
http://www.adobe.com/

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」のライセンスに関するお知らせ

MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.